

第七十九回帝國議會  
衆議院

所得稅法中改正法律案外十七件委員會會議錄(速記)第四回

會議

昭和十七年一月二十七日(火曜日)午前十時  
十九分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 勝 正憲君

理事川崎末五郎君 理事駒井 重次君

理事大石 倫治君 理事河野 密君

理事松永 義雄君

田川大吉郎君 井阪 豐光君

金井 正夫君 伊藤 五郎君

宇賀 四郎君 小川郷太郎君

小高長三郎君 小野 謙一君

岡本實太郎君 田万 清臣君

百瀨 渡君 小畑虎之助君

佐竹 晴記君 青木 作雄君

森田 福市君 篠原 陸朗君

高橋熊次郎君 立川 平君

豐田 收君 川崎 克君

松田竹千代君 眞鍋 儀十君

森 肇君 加藤 鯛一君

出席國務大臣左ノ如シ

大藏大臣 賀屋 興宣君

出席政府委員左ノ如シ

內務書記官 小林 千秋君

大藏省主稅局長 松隈 秀雄君

大藏書記官 池田 勇人君

大藏書記官 深澤 家治君

大藏書記官 平田敬一郎君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

所得稅法中改正法律案(政府提出)

法人稅法中改正法律案(政府提出)

所得稅法人稅内外地關涉法中改正法律案(政府提出)

相續稅法中改正法律案(政府提出)

織物消費稅法中改正法律案(政府提出)

物品稅法中改正法律案(政府提出)

電氣瓦斯稅法案(政府提出)

廣告稅法案(政府提出)

馬券稅法案(政府提出)

付託議案

所得稅法中改正法律案(政府提出)

(第一〇號)

法人稅法中改正法律案(政府提出)

(第二號)

所得稅法人稅内外地關涉法中改正法律案(政府提出)

(第二二號)

相續稅法中改正法律案(政府提出)

(第三號)

織物消費稅法中改正法律案(政府提出)

(第二四號)

物品稅法中改正法律案(政府提出)

(第二五號)

電氣瓦斯稅法案(政府提出)

(第二六號)

廣告稅法案(政府提出)

(第二七號)

馬券稅法案(政府提出)

(第二八號)

印紙稅法中改正法律案(政府提出)

(第二九號)

臨時利得稅法中改正法律案(政府提出)

(第三〇號)

特別法人稅法中改正法律案(政府提出)

(第三一號)

營業稅法中改正法律案(政府提出)

(第三二號)

臨時租稅措置法中改正法律案(政府提出)

(第三三號)

國庫出納金端數計算法中改正法律案(政府提出)

(第三四號)

戰時災害國稅減免法案(政府提出)

(第三五號)

所得稅等ノ日滿二重課稅防止ニ關スル法律案(政府提出)

(第三六號)

地方分與稅法中改正法律案(政府提出)

(第三七號)

今日御出席ヲ願フタノデアリマス、御承知ノ通り大臣ハ各委員會ノ答辯デ、隨分御忙シイ譯デアリマスカラ、此ノ際大藏大臣ニ對スル質問ダケヲ選リ抜イテ御質問ヲ願フテ、大藏大臣以外ノ政府委員ノ方デ宜シイ問題ハ成ベクソツチラニ讓ルコトニ致シテ、何回デモ發言ハ留保サレテ宜シイデスカラ御質問ヲ願ヒタイ、而シテ質問モ其ノ「ポイント」ニ付テ制限ハ致シマセスケレドモ、成ベク簡單ニ御質問願ヒ、又大臣ノ方ニ於カレマシテモ簡單ニ御答辯ヲ願ヒマシテ、成ベク能率ヲ上ゲルヤウニ致シタイト思ヒマス、ソレデハ岡本君ニ發言ヲ許シマス

○岡本委員 此ノ度ノ増稅ノ目的トシテ示サレタ所ハ收入ノ増加、戰時財政強化、購買力ノ吸收、此ノ三點ヲ主タル目的トシテナシタノデアルト云フ御説明ト承知致シテ居リマス、前回ノ七十七議會ニ於ケル間接稅ノ増徴ノ時ニモ此ノ目的デアリマシタガ直接稅ナルガ爲ニ自ラ異ツテ居ル所モアルト思フ、結局收入ノ増加ト云フコトガ劈頭ニモ書イテアル如ク、最モ大切ナコトデアラウト思ヒマス、又即チ戰時財政ノ強化ト云フコトモ大切デアアル、又購買力ノ吸收、所謂浮動購買力ヲ吸收シテ、悪性「インフレーション」ヲ防止スル、斯ウ云フ點ガ主デアリマセウカラ、所謂戰時經濟ノ強化、斯ウ云フ風ニナルカト思フノデアリマス、隨テ、一口ニ約メレバ戰時ノ財政並ニ經濟ノ強化、是ガ今回ノ増稅ノ根本デアアル、斯ウ云フ風ニ承知致シテ居リマス、ソコデ思ヒマスノニ、豫算ハ年々膨脹シテ參リマシマス、大東亞戰爭ハ今日始マツテ、マダドレダケ續クカ、所謂長期戰ニナツテ其ノ終ル所モ想像出來ナイ、既ニ本年ノ一般豫算ハ

八十八億圓ト承知致シテ居リマス、軍事費ハ只今豫算委員會ニ上程サレテ居ルヤウデスガ、正ニ百八十億ト言ハレル、此ノ一般豫算ノ内譯ニ付テハ、三十六億ガ陸海軍費用トシテ臨時軍事費ニ廻サレタト云フヤウナ關係ヤ、色々複雑ナ關係モアルヤウデアリマスガ、兎ニ角昨年度ニ比較シマシテ、支那事變カラ大東亞戰爭ニ發展シタ爲ニ、茲ニ又非常ニ經費モ龐大シタノデアリマス、隨ヒマシテ此ノ邊カラ想像スルト、此ノ度ノ増稅ノミナラズ、將來モ亦増稅ト云フコトガ次々ニ來リ、國民ハ忍ンデ之ヲ負擔シナケレバナラナイト云フ状態ニアルコトト推量致シマス、斯クシテ増稅ト共ニ自然公債ノ發行モ増加致サレマセウ、ソレモ百三十四億ニ承知致シテ居リマス、斯ウシテ一段段租稅ハ殖エ、公債モ増加シテ參リマシガ、其ノ租稅ト公債トノ割合デアリマス、

昨年モ七十七議會ノ時カラ是ガ相當問題ニナツタヤウデスガ、一口ニ言ハバ先ヅ經常收入ト臨時收入トノ割合、斯ウ云ツタ關係ニナリマスガ、其ノ割合ト云フモノハ餘程考察ヲ要スルモノガアルト考ヘルノデアリマス、恐ラク各國ノ例ガアリマセウ、今各國ノ状態ヲ比較スレバ、英國ハ「ドイツ」ト日本ト戰ツテ居ル、「アメリカ」モ亦「ドイツ」ト日本ト戰ツテ居ル、「ソビエト」ハ「イギリス」ト戰ツテ居ル、斯ウ云フヤウニ世界ノ大キキ國ハ皆同ジヤウナ關係ニアリマスカラ、他ノ國ノ例ヲ強ヒテ取ルノデアアリマセスケレドモ、參考ニ供スル必要ガアルカト思ヒマスガ、我が日本ニ於キマシ

テモ現在公債ト租稅ト云フモノハ凡ソドウ云フ割合デ負擔サレテ居ルカト云フコト、隨テ各國ノ例等モ客觀的ニ御分リデアリマシタナラバ、御説明ヲ御願ヒ申シタイト思フノデアリマス

○賀屋國務大臣 臨時軍事費豫算ト一般會計豫算ヲ通計致シマシタ全豫算額ニ對シマスル公債ト租稅トノ割合デアリマスガ、昭和十三年以後純然タル事變以後ノ年ヲ申上ゲマスルト、昭和十三年ニ於キマシテハ豫算ガ八十億九千万圓ニ對シマシテ、租稅ガ二十二億九千八百万圓デ二八%デアリマス、公債ハ五十四億六千万圓デ六八%デアリマス、其ノ他ノ收入ガ三億三千万圓デ四%デアリマス、同ジク昭和十四年ノ豫算ハ八十九億六千万圓デアリマシテ、租稅ガ二十七億五千六百万圓デ三一%、公債ガ五十六億五千百万圓デアリマシテ六三%、其ノ他ノ收入ガ四億九千八百万圓デアリマシテ六%デアリマス、昭和十五年ノ豫算ガ百九億七千六百万圓デアリマシテ、租稅收入ガ三十八億一千三百万圓ノ豫算デ三五%ニ當リマス、公債ハ六十五億七千八百万圓デ六〇%ニ當リマス、其ノ他ノ收入ガ五億八千五百万圓デ五%デアリマス、昭和十六年ハ豫算ガ百八十八億六百万圓デアリマシテ、租稅收入ガ四十七億五百万圓デ二五%ニ當リマデアリマス、其ノ他ノ收入ガ七億四千九百

万圓デ四%、昭和十七年ハ豫算ガ二百四十億一千百万圓デアリマシテ、租稅ガ七十八億四千四百万圓デ二九%デアリマス、公債ガ百五十五億八千万圓デ六四%、其ノ他ノ收入ガ十六億四千六百万圓デ七%デアリマス、是ガ各年度豫算ノ實情デアリマス、尤

モ租稅ト申上ゲマスルノハ、形ハ專賣益金ノ如ク租稅ト云フ形ヲ持ツテ居リマセウガ、實質ハ租稅ト見テ宜シイモノガ含マツテ居リマス、外國ニ於キマシテハ、昭和十六年度「イギリス」ガ租稅ガ四一%ヲ占メテ居リマス、米國ガ五五%、「ドイツ」ガ三六%デアリマス、尤モ米國ハ色々國ノ事情モ違ヒマス、或ハ聯邦政府ト州政府トガアリマシテ違ヒマスガ、兎ニ角「イギリス」ハ四一%、「ドイツ」ハ三六%、斯ウ云フコトニ相成ツテ居ルノデゴザイマス、是ガ戰時財政トシテ如何ナル割合ヲ占ムベキカト云フコトニ付キマシテハ、私ハ理論上如何ナル割合ヲ占メナケレバナラズ、ソレヲ占メナケレバ財政ガ危イトカ、ソコマデ行ツテ居レバ宜シイトカ云フコトハナイト思ヒマス、是ハ前ノ議會ニモ申上ゲタノデアリマスガ、要シマスルノニ戰時デアリマシカラ、一番重大ナルコトハ經濟力ノ維持發展デアリマス、之ヲ害セザル範圍ニ於テ負擔力ヲ考ヘ、出來ルダケ多額ノ稅收入ヲ得ル、斯ウ云フ考ヘ方ヲ致シテ居リマス、ソレハ四割程度ニ參ルコトガ出來マスレバ、餘程宜シイト思ヒマスルケレドモ、必ズシモソコマデ行カナケレバナラズト云フコトハナイ、要ハ經濟力ガ維持増強サレマスルナラバ、必ズヤ將來ニ於テ財政ヲ普通ノ形ニ戻スコトガ出來ルノデアリマス、根本ハ其ノ點ニアルト考ヘテ居リマス

○岡本委員 御説明ヲ承リマシテ能ク分リマシタ、只今承リマス、租稅ノ割合ガ二八%カラ三一%、三五%、十三年度カラ十五年度ニ互ツテ漸次率ガ上ツテ居リマス、十六年度ニ至ツテ二五%ニ減ジテ、更ニ十七年度ハ二九%ニ上ツテ居リマス、公債ハ

是ト反對ニ漸次三年間ハ減リマシテ、四年目ノ十六年度ニ此ノ率ガ殖エテ居リマス、十七年度ハ更ニ減ツテ居ル、斯ウ云フ關係ニナツテ居リマス、之ヲ見テ稍、安堵ヲ致シマシタガ、只今御説明ノヤウニ絶對的ニ何割デナケレバナラスト云フヤウナ標準ノナイコトハ勿論デアリマス、十七年度ニ於テモ二九%、約三割ト云フモノガ租稅デアル、而シテ之ヲ他ノ國ノ例カラ見テモ、凡ソ四割マデハ宜カラウト云フヤウナ御説明ニ承リマシタガ、サウナリマス、自然此ノ後ニ於テ戰費其ノ他ノ費用ノ減ゼザル限リ、ヤハリ増稅ノ必要ガ出テ來ルヤウニ思ハレマス、丁度十三年二八%ガ十四年三一%、十五年三五%ニ上ツタ如ク、十六年度二五%、十七年度二九%ガ更ニ三十何「パーセント」、總テ四〇%近クマデ上ル時期ガ來ル、斯ウ云フコトヲ推量シナケレバナラス、勿論只今御説明ノヤウニ日本ノ經濟ガ前提アル、經濟力ノ負擔ガ耐ヘ得ル程度ニ於テハ増加シテ行クコトハ勿論デアリマス、斯ウ云フ風ニ増加シテ行キマス、此ノ度此ノ直接稅ノ増稅ノ出マシタ如ク、唯單ニ率ヲ引上ゲルト云フコトダケデハ足りナイカト思ヒマス、自然新シイ稅トカ、其ノ他ノ方法デ根本ニ互ツテ、又再ビ茲ニ修正ヲ加ヘテ行カケレバナラス、一昨年既ニ此ノ稅制ハ根本的ニ改正サレマシタガ、ソレガ又更ニ明年カ明後年ニハ根本的ノ改正ニマデ斧鉞ヲ入レナケレバナラスト云フ時代ガ來ルカト思フ、サウ致シタ時ノ御考ヘヲ承リタイ、端的ニ申セバ、常ニ問題トナルヤウナ財產稅、賣上稅、斯ウ云フヤウナ方マデ自然進マナケレバ出來ヌヤウニナルノデハナイカト、斯ウ推量スル、此ノ度ノ増稅

ニモ、財產稅ニ付テハ相續稅ノ率ノ引上ニ於テナシテ居ルト云フ御説明モアルヤウデアリマス、此ノ邊ニ付テノ大臣ノ御考ヘハ如何デアリマセウカ

○賀屋國務大臣

戰時ガ永ク繼續シマスト云フコトハ、殆ドソレガ確定的デアルト云フ考ヘノ下ニ總テノ施策ヲ進メテ行ク要ガアリマス、隨ヒマシテ今後更ニ増稅ノ行ハレル機會ガナイトハ決シテ言ヘナイト思ヒマス、サウ云フ場合ニ於テ現行稅制ノ儘稅率ヲ盛ツテ行クダケデ濟ムカドウカト申セバ、或ル程度ハソレデ行ケヨウカト思ヒマス、何處マデモ行ケルカドウカト云フコトハ、餘程研究ヲ致サナケレバ行ケルトハ申セヌト思フデアリマス、然ラバ之ヲ變ヘルト假定スレバ、如何ナル構想、稅全體ノ如何ナル組織ノ下ニ行カト云フコトデアリマス、是ハ今御述ベニナリマシタヤウナコト、又其ノ外ニ色々世上ニモ所論ガアルデアラウト思ヒマス、私共モ何トカ心中デハ、アレコレ色々考ヘルコトモアルノデアリマス、併シマダ政府トシテドウ考ヘテ居ルト申上ゲルマデニ相成ツテ居リマセヌ、却テ具體的ニ申シマスコトハ、其ノ影響モ如何デアラウカト思ヒマスカラ、差控ヘタイト思ツテ居リマス

○岡本委員

他ノ點デアリマスガ、統制經濟ノ強化ト云フコト、計畫經濟ガ漸次進展シテ參リマス、之ニ依ツテ國策會社等ガ幾多出マシテ、中小商工業者ニ轉廢業ヲシナケレバナラス者ガ出來テ來テ、漸次是ガ殖エテ來ルヤウニ思フ、商工業者ノ中デモヤハリ中小商工業者ハ數ガ多イデアリマス、一人々々ノ稅額ハ少クテモ之ヲ綜合ス

レバ隨分ナ稅額ニナルト思フ、營業稅トカ、或ハ所得稅トカ、斯ウ云フヤウナ方面デ寧ロ率ハ殖ヤシテモ却テ金額ニ於テハ餘程減少ヲ來サナイカト云フ疑ヒヲ持ツテ居ル此ノ稅ノ減少アリトスレバ、ソレニ對スル御對策ヲ何等カ御考ヘニナツテ居リマスカドウカ

○賀屋國務大臣

稅制ノ全體ノ關係カラ漸次所得稅中心主義ガ、結果ニ於テモ、又方針ニ於テモ著シク現ハレテ居リマスコトハ御承知ノ通りデアリマス、酒ト所得稅ト云フモノ、個人法人ヲ合セテ所得稅ト云フモノガ、稅ノ兩大關ノ如ク考ヘテ居リマシタノモ、ツヱ此ノ間ノヤウナ氣ガ致シマシガ、今デハ非常ナ違ヒデアリマス、又其ノ頃ハ酒、所得稅ニ對シマシテ、收入カラ申シマス、關稅收入ガ非常ナ又大キナ役割ヲシテ居リマス、砂糖ト酒ト所得稅ト關稅ヲ見テ、大體其ノ歲入ノ額ガ決マルト云フコトモ、是モ此ノ間ノヤウナ感ジガシマスガ、御承知ノ如ク國際經濟關係、國內經濟關係ノ一變カラ、殆ド關稅ト云フモノハ收入トシテノ重サハ何處ヘ行ツカト云フヤウナ狀態デアリマス、國內ニ於テモ、産業再編成其ノ他ノ立場カラ色々經濟機構組織ノ變革ガアリマス、只今御述ベニナリマシタヤウニ、是ガ稅制ノ上ニ色々影響ヲ持ツテ參ルデアリマス、現在ハ正シク其ノ過渡時代デ、將來ノ稅制ノ構想ニ付テハ、是等ノ觀點カラモ餘程考ヘテ行カケレバナラスト思ツテ居リマス、併シ今具體的ニ申上ゲマス階段ニ參ツテ居リマセヌ

○岡本委員

關稅ノ御言葉ガ出マシタカラ序ニ一ツ伺ツテ置キマス、關稅收入ハ御說分ノヤウニ漸次減リマシテ、最近ニ於テハ餘

程少クナツテ居ルヤウデアリマス、戰時經濟ノ強化ニ伴ツテ漸次貿易ノ狀態ガ變化シ、輸入ハ少クナリ、輸出モ亦少クナツタ關係カト思ツテ居リマス、斯ウ云フ戰時ノ狀態デアリマスカラ、如何ニ變轉スルカト云フコトハ想像モ出來ヌト思ヒマス、今改正案ヲ出スト云フ段階ニハ恐ラク至ツテ居ラスカトモ思ヒマスガ、一面カラ見レバ戰時經濟ノ爲ニ物資ハ各所ニ於テ不足致シテ居ル、殊ニ軍需以外ノ民需ノ如キハ大分窮屈ニナツテ居リマス、此ノ點カラ見マシテ少シク關稅ノ率ヲ引下ゲテ、必要缺クベカラザルヤウナモノハ輸入モ圖ル、又不必要件ノモノ、急デナイモノハ輸出ヲスルト云フヤウナ方面ヲ御考ヘニナツタナラバドウカト云フコトモ考ヘラレマス、尤モ關稅ノ率バカリ變ヘマシテモ、輸送ノ船舶ガ足ラヌデヤナイカ、斯ウ云フコトモアリマシテ、今俄カニ船舶ノ輸送力ヲ増加スルコトモ出來マセヌガ、何レハ漸次良クナル狀態ニ赴クト思フノデ、其ノ輸送狀態ノ良クナルヲ見越シテ、寧ロ今ノ中カラ關稅ノ改正ニ御着手ニナルノガ國內ノ物資ノ上ニ付テモ適當ナ策デハナイカト思フノデス、隨テ贅澤ナモノ、其ノ他不急ナモノニ付テハ關稅率ヲ引下ゲル必要ハアリマセヌ、併シ日用品又ハ日用品ニ近イモノハ成ベク早く引下ゲルト云フコトモ必要カト思ヒマスガ、其ノ邊ニ對スル御考ヘハ如何デアリマスカ

○賀屋國務大臣

御趣意御尤モデゴザイマス、關稅收入ハ昭和十二年ガ最高デゴザイマシテ、一億八千四百九十六萬三千圓デアツタモノガ、十七年度ノ豫算ハ僅カニ四千九十一萬一千圓デ、全ク四分ノ一以下、五分ノ一ニモ近イヤウナ減リ方ヲ致シテ居リ

マス、是ハ御承知ノ如ク我國ノ貿易ハマダ數量金額ハ相當デアリマスガ、英米等ノ關係ガ斷交ニナツタ結果、關稅ヲ課セラレルヤウナ品物ハ殆ド入ツテ來ナイ、入ルモノハ共榮園内ノ原料品デアリマス、其ノ原料品ハ殆ド全部無稅デアリマス、税金ヲ取ル製品ノヤウナモノハ入ツテ來ナイ、取ラヌヤウナモノダケ入ツテ來ル、斯ウ云フ關係デアリマス、只今東亞共榮園内カラ各種ノモノヲ入レルベク計畫ヲ致シテ居リマスガ、是等ハ殆ド原料品デ、無稅品バカリデアリマス、又釐澤品關稅ハ其ノ儘殘ツテ居リマス、只今ノ所急ニ關稅ヲ改正シナケレバ共榮園内ノ物資ノ交流ニ障礙ガアルト云フコトモ認メラレマセヌノデ、本議會ニ於テハ關稅法ニ付テノ改正案ヲ提案シナイコトニ致シタ譯デゴザイマス

○岡本委員 私ハ此ノ程度デ結構デゴザイマス

○勝委員長 宇賀君

○宇賀委員 私ハ只今岡本委員ノ御伺ヒシタト同ジコトニ付テ、少シク違ツタ方面カラ聽イテ見タイト思フノデアリマス、國費ガ段々ト増加スルコトハ、今ノ所避クベカラザル情勢デアル、隨テ之ヲ調達スル場合ニ於テ借入金ト租稅トヲ以テ賄ツテ行クコトモ當然デアルガ、其ノ割合ガドウナルカト云フコトヲ今御聽キ申スト、是ハ此ノ前ノ七十七議會ノ租稅増徴ノ時ニ松村委員ガ御聽キシタ所、「イギリス」ハ四一%デアルカラ、成ベク日本モ四割位税金ヲ取ツテ支辨シタイト云フヤウナ大藏大臣ノ御口吻ノヤウニ當時承ツテ居ツタノデアリマスカ、只今承ルト、其ノ割合ハ其ノ時ノ宜シキニ從ツテ決定スベキモノデアツテ、必ズ

シモ膠着スベキモノデハナイ、成程「イギリス」ガラウガ、「アメリカ」ガラウガ、外國ト日本ハ事情ガ違フカラ、日本ハ日本ダケノ事情ニ依ツテ之ヲ御決メニナルコトハ御尤デアルト思ヒマス、其ノ當時四割ヲ以テ其ノ位ヤリタイト云フ御希望モアツタケレドモ、私共ソシナコトハ實際實行出來ルモノカト思フテ聞イテ居リマシタ、所ガ只今必ズシモ四割ヲ金科玉條トスル譯デハナイト云フコトヲ承ツテ、私共ノ疑惑ハ晴レタノデアリマス、何ニシテモ戰費ガ段々ト増大スルコトハ否ムベカラザル事實デアリマスカラ、將來之ヲドウスルカト云ハバ、經濟力ヲ大イニ發展セシメテ此ノ戰費ノ支辨ヲスルノダト云フ只今ノ御話デアリマシテ、之ニ付テハ私共ノ通りダト思ヒマシケレドモ、ズツト前カラノ懸案ニナツテ居ル所ノ國民所得ニ付テ、政府ハ今日マデノ間ニ一體ドレダケノ御研究ヲナサツタカ、七十五議會ノ稅率委員會ニ於テモ堀切委員長カラ、確的ナ調査研究ヲ進メテ置イテ貰ヒタイト云フ要望ヲ、當時ノ大藏大臣ニナサツテ居ルノデアリマシテ、話ニ聞ケバ色々調査研究シテ居ルト云フコトデアリ、又大臣官房ニ研究室ト云フヤウナモノヲ設ケテ、其ノ點ヲ研究シテ居ルト云フヤウナ御話ガアツタガ、モウ二年經ツタノデアルカラ、一體國民所得ガ日本デハドウ位アルカト云フコトヲ、モウ少シハツキリ御話願ヘナイモノデアリマセウカ、ト云フノハ七十五議會デ主稅局長ハ二百五十五億トカ、六十億ト云フコトヲ申サレ、私共モ少クトモ其ノ位、或ハ二百八十億位アルノデハナイカト考ヘタノデアリマスガ、其ノ後大藏省デハ其ノ點ニ付テ御發表ガアリマセヌガ、一體

大藏大臣ハ今日日本ノ國民所得ハ一ヶ年ニ三百五十億位アルト御思ヒカ、四百億位アルト御思ヒニナツテ居ルカ、此ノ點ニ付テ御考ヘテ御示シ願ヒタイノデアリマス

○實屋國務大臣 國民所得ノ研究ハ大藏省デモ續ケテ居リマスガ、所謂研究トナリマスト中々困難ナノデアリマス、私共ハ前カラ貯蓄獎勵ノ基本ニ致シマシテモ、細カク言フト元本ヲ食フモノガアル、例ヘバ鑛山ニ入ル金ノ如キハ、鑛業權ノ元本ヲ幾ラカ食ヒツツアルノデアリマス、併シ是ガ資金ノ撒布回收ノ上カラ申セバ、所得ト同ジヤウナ方策ヲ執ツテ行カナケレバナラヌト思ツテ居リマス、ソレデ是ハ重複關係ガ非常ニアリマスノデ、私ナラ私ガ味噌代トシテ出入リノ商人ニ拂ヒマスト、其ノ一部ハ其ノ商人ノ所得ニナル、又サウ云フコトヲ繰返スト云フヤウナ關係デ、物的ニ重複シタモノガアルノデ、ソレ等ノ研究ガ簡單ナヤウデ非常ナ面倒ヲ今モ致シテ居リマス、隨テ政府トシテ國民所得金額ハ是レノナリトハツキリ申上ゲルマデニハ餘程掛ルト私ハ思フ、又其ノ途中ニ「アカデミック」ノ研究ヲ一々政策運用ノ基礎トシテ參ル譯ニハ中々行カヌト思フ、唯大體ヲ踏ミマシテ、普通ニ國民所得ト云ハレル事柄ヲ申スト、昭和十七年度ハ事務當局ニ言ハスト四百億少シ位ト云ツテ居ルノデスガ、私ハ結果論カラ言ヘバ四百五十億位ニナルノデハナイカト思フ、私ノ方ガ少シ多ク見テ居ル、勿論其ノ中ニハ今申シマシタ鑛山ノ、極ク正確ニ言ヘバ減價償却ニ屬スル分モアリマスノデ、ソレ等ガ入ツテ參リマセウケレドモ、「アカデミック」ニ議論スレバ純然タルモノガ四百億位デアツテ、其ノ他ノモノガ五十億

位アルト云フコトニナルカモ知レマセヌ、私共ガ生産擴充トカ或ハ國債消化トカ、サウ云フ風ナ政策ノ運用ノ基礎トシテハ今ココデ四百二十億ト云フ數字ヲ貫ツテ居リマスガ、マアソシナ見當デヤナイカト思フテ居リマス

○宇賀委員 是ハ此ノ際政治的ニ見テヤルヨリ外方法ガナイダラウト思ヒマスカラ、私自身トシテハ此ノ概算ニ付テハソレデ満足シテ居リマスガ、今度ノ増稅ヲ考ヘテ見マスト、所得稅ヲ中心ニシテ、サウシテ所得稅ヲ非常ニ増徴シテ參リマシタ、其ノ増徴ノ方法ト致シマシテハ、結局國民ノ可ナリ少イ所得者ニ付テモ相當稅ヲ負擔サセルヤウナ手續ニ出タヤウデアリマス、從來二百八十万シカ負擔シテ居ナカツタ所ノ勤勞所得者ノ七百二十圓ト云フ額ヲ切下ゲテ六百圓ニシタ、隨テ四百二十万バカリニ稅ノ負擔者ガ殖エタ、成ベク國民ヲシテ其ノ所得ニ應ジマシテ、應分ノ負擔ヲサセルト云フコトハ、是ハ戰時ニ於テハ極メテ必要ナコトガラウト思ヒマス、所ガサウ云フ風ニシテ、國民ノ中ニハ可ナリ生活ニ困難ヲ感ズルヤウナ者モアリ得ルカラ、又一面緩和ノ方策ヲ執リマシテ、家族ノ控除額ト云フヤウナモノモ認メ、サウシテ大體千二、三百圓ノ收入ガナケレバ稅ヲ負擔シナクテモ宜シイト云フヤウモ方策ヲ講ジマシテ、今回又月一圓ノ子女ノ控除額ヲ二圓ニ上ゲルトカ、或ハ五人以上ノ子女ガアル場合ニハ三圓ニスルトカ云フコトニ致シテ、政府モ可ナリ注意ヲ用ヒタヤウデアリマス、私共ハ其ノ點ニ於キマシテ洵ニ御尤モナ考ヘ方ト思ツテ居リマス、併シナガラ私ハ一面ニ於テサウ云フ風ニ御考ヘニナルト同時ニ、大

位アルト云フコトニナルカモ知レマセヌ、私共ガ生産擴充トカ或ハ國債消化トカ、サウ云フ風ナ政策ノ運用ノ基礎トシテハ今ココデ四百二十億ト云フ數字ヲ貫ツテ居リマスガ、マアソシナ見當デヤナイカト思フテ居リマス

藏大臣ハ少額所得者ニ對シマシテハ、家族手當ト云フヤウナモノヲオヤリニナルヤウナ風ニ御考ヘニナツテ、其ノ意見ヲ新聞紙上ニ發表シテ居ルヤウナコトヲ見受ケマシタガ、何かサウ云フ點ニ付テ御考ヘガアリマスカ、此ノ少額所得者ノ租稅ヲ引下ガテ増徴スル、ソレト相俟ツテ今ノ家族手當ヲオヤリニナルト云フコトガ何ダカ少シ一寸聽クト矛盾スルヤウニモ思ハレマスケレドモ、其ノ家族手當ト云フモノハ、此ノ税金ヲ取ラレル所得ノ中ニ入ルノカ入ラヌノカ、其ノ點ヲ御伺ヒ致シマス

○賀屋國務大臣 所得ノ中ニ入リマス

○宇賀委員 ソレカラ此ノ前ニモ産業資本ヲ優遇セズニ金融資本バカリ優遇シテ居ルト云フヤウナ攻撃ガ大分ゴザイマシタケレドモ、此ノ度モ相當サウ云フ風ニ思ハレル節ガマダ殘ツテ居ルヤウデアリマスルシ、昨日岡本委員モ其ノ點ニ付テ觸レラレナイヤウデアリマシタカラ、私少シ聽イテ見タイト思フノハ、分類所得デ、元ハ五千圓デ以テ控除シタモノヲ、今度ハ三千圓ノ控除ニ下ゲマシテ、其ノ結果元ハ二十八万人シカ租稅ヲ負擔シナイモノガ——其ノ數字ヲ貰ヒマシタガ一寸忘レマシタガ、三千圓ニ下ゲタ爲ニ可ナリ納稅者ノ數モ殖ヘ、又稅額モ殖ヘタコトト思ヒマス、細カイコトハ後デ主稅局長ニ御伺ヒ致サウト思ヒマスガ、サウ云フヤウニ思ヒ切ツテ少額所得者ノ方マデ稅ヲ御取リニナリナガラ、綜合所得ノ場合ニハ相變ラズ稅法ノ百六條ヲ活用致シマシテ、サウシテ昔ノ第二種所得ト申シマシタ公債社債其ノ他ニ對スル所ノ選擇課稅ヲ認メテ居ル、是ハ私共カラ言ヘバ、斯ウ云フ學國一致シテ皆稅ヲ負擔シナケレバナラ

スト云フヤウナ建前カラ見テ、ドウモ政府ノヤリ方ガ手緩イヤウニ思ハレルノデアリマス、其ノ當時モ經濟界ニ影響ヲ及ボス云云ト云フヤウナ御說明デアリマシタケレドモ、ヤハリ今度ノ改革案ニ於テモ百六條ノ「當分ノ内」ト云フヤウナ條文ヲ削除シナイ所ヲ見マス、現大藏大臣モヤハリ經濟界ニ急激ナ變化ヲ及ボサナイヤウニト云フヤウナ御考ヘニ立ツテ、アノ條文ヲ其ノ儘維持シヨウトナサツテ居ルノデアリマセウカ、御意見ヲ承リマス

○賀屋國務大臣 アノ條文ヲ取リマシテ全部綜合シマスルコトハ、確カニ今ノ經濟界ニ惡イト思ヒマシテ取リマセス

○宇賀委員 經濟界ニ惡イト云フノハドウ云フ點ガ惡イノデアリマスカ、要スルニ稅ト云フモノハ負擔力ノアル所ニ課スルノガ當リ前デハナイカ、今ノアナタノ話ハ、ソレ課サズニ元ノ儘ニシテ置イテ、片方ノ少額所得者カラハ取ルダケ取ツテ、サウシテコツテ側デ與ヘテ居ルデハアリマセウカ、ソレナラ取ルモノハ取ツテ、與ヘルモノハ與ヘルヤウニオヤリニナツタラ如何デセウ

○賀屋國務大臣 取ツテ居リマス、綜合所得稅ノ源泉ニ百分ノ二十五ト云フ高率ノモノヲ取ツテ居リマス

○宇賀委員 百分ノ十ヲ百分ノ二十五ニシタ爲ニドノ位稅額ガ上リマセウカ、ソレカラ若シモサウ云フ選擇課稅ヲ許サズ、全部綜合所得ヲ課シタモノトスレバ、今ノ增稅案ニ依ツテドレダケノ增收ガ期待出來ルカ、其ノ兩者ノ比較ヲ御示シ願ヒタイ

○松隈政府委員 數字ハ只今調ベマシテ後刻御答ヘ申上ゲマス

○宇賀委員 經濟界ニ惡影響ガアルト仰シ

ヤルガ、ドウ云フ點ニ惡影響ガアルノカ、唯惡影響ガアルト云フダケデハ分リマセウカ、モウ少シ詳細ニ御說明願ヘマセウカ

○賀屋國務大臣 經濟界ニ於キマシテハ、預金等ニ付テハ何ト申シマシテモ、今綜合致スト云フコトハ非常ナ變動ヲ及ボスト思ヒマス、又公債等ニ致シマシテモ、兎ニ角長イ間其ノ採算ノ基礎ノ下ニ持ツテ居ツタモノガ隨分アルノデアリマス、非常ニ稅ハ重イノデアリマシテ、稅引ノ採算ノ基礎ニ持ツテ居ル者ガ多イノデアリマス、之ヲ急激ニ變更シマス時ニハ、公債ノ所有ニモ非常ニ異動ヲ來スト思ヒマス、大キナ異動ガ起リマスコトハ、今非常ニ大切ニ、凡ニ工夫ヲ維持シテ居リマスル所ノ此ノ戰時ノ金融、資金ノ蓄積、又蓄積サレタル資金ノ使用ヲ國家目的ニ副フベク凡ニ努力ヲ致シテ居リマスル時ニ、左様ナ大變動ヲ起スコトハ宣シクナイ、斯様ニ考ヘマシテ、此ノ方法ヲ執ル、斯ウ云フ風ニ存ジテ居ル次第デアリマス

○宇賀委員 只今大藏大臣ノ御示シガアリマシタケレドモ、成程ソレモ一ツノ見方ダラウト思ヒマスルガ、一體今ノヤウナ選擇課稅ヲ許シマシレバ、御示シノ表ニ依リマスト云フコト、前ノ河野委員ガ要求シマシタ第八號ノ、新稅法ヨリ見タル株式、國債社債ノ利廻額、サウ云フヤウナモノヲ一寸覗イテ見マシタノデアリマスガ、現行ノ稅法ナラバ三萬圓以上ノ綜合所得ノアル人ハ、ソレ以後ノ所得ト云フモノハ全部利廻リハ少イケレドモ、公債ニ變ヘテ置イタ方ガ大變ニ利益ノヤウニナリマス、今度ノ稅法ノ、私ノ所ニ戴キマシタ表ハ、少シ字ガ消エテ

居ツテ分リマセウカ、今度ノ所デハヤハリ五萬圓位ニナリマセウカ、ソレ以上ノ所得ノアル者ハ、以後ノ所得ト云フモノハ株式ヤ何カニ投資セズシテ、或ハ土地其ノ他ノ不動産ニ投資セズシテ、ヤハリ國債トカ、公社債ニ投資シタ方ガ利益ノヤウニ思ハレマスルガ、サウ云フ風ニ心得テ宜シウゴザイマセウカ

○賀屋國務大臣 左様デゴザイマス

○宇賀委員 サウスルト云フト、ソレ以上ノ大キナ不合理ハ、比較的安イ所マデ税金ヲ負擔サセテ、サウシテ月給五十圓シカ取レナイヤウナ者カラ——五十圓ハ除イテシマヒマスカラ取レマスマイケレドモ、五十一圓カラモウ稅ハ課カリマス、サウ云フ者カラ稅ヲ取ルヤウナ案ヲ作ツテ、ソレハ餘リ酷ダト御考ヘニナルカラシテ、色々ト緩和方策ヲ講ズルノミナラズ、家族手當ト云フヤウナモノモ御考慮ナサツテ居ル、私ハ洵ニ大臣ハ世情ニ通ジテ、大變ニ世ノ申ノコトヲ御考ヘニナツテ居テ結構ダト思ツテ居リマス、併シ此ノ二ツヲ考ヘテ、普通ノ少シ頭ノアル國民ガ何ト考ヘ、ルト思ヒマス

カ、其ノ方ガ世道人心ニ惡影響ヲ及ボシ、隨テ經濟界ニモ餘リ好イ影響ハ及ボサナイノデアリナイカト思ヒマスガ、是ハ大藏大臣ハサウ御考ヘニナリマセウカ

○賀屋國務大臣 何シロ只今ハ戰爭ニ勝ツコトガ唯一ノ主眼デアリマス、經濟界ニ非常ニ惡イ惡影響ヲ及ボシテ行クト云フコトハ私ハ好ミマセス

○宇賀委員 私ハ是レ以上議論ヲ致シマセヌ、此ノ問題ハ此ノ程度ニ止メテ置キマス、私ノ大臣ニ御聽キ申スコトハ濟ミマシタ

○勝委員長 伊藤五郎君

○伊藤(五)委員 實ハ私ノ質問セントスルコトハ、岡本、宇賀兩議員ノ御尋ネニ依ツテ大體盡キテ居ルト思ヒマスガ、マダ私ノ質問シタイ點ガ二、三殘ツテ居リマスルカラ、簡單ニ御尋ネシタイト思ヒマス、今回ノ増稅ノ結果、銀行定期預金ノ稅引廻ト、無稅ノ郵便貯金ノ利息トノ開キガ非常ニ少クナツタノデアリマス、其ノ結果、最近ニ或ル學者ハ、郵便貯金ノ利下ヲシテ貯蓄ノ目的ヲ達成シナケレバナラヌト云フヤウナコトヲ書イテ、既ニ頒布ヲシテ居ルノデアリマス、私ノ考ヘデハ、此ノ銀行定期預金ノ稅引廻ト、郵便貯金ノ利息トノ開キハ現在ニ適當ダト思フノデアリマス、貯蓄ノ目的ヲ達成スル上ニ於テモ是ハ至當デアルト思フノデアリマス、之ヲ絕對ニ變更スル必要ハナイト思ヒマス、又變更シテハナラナイト思ヒマス、此ノ點ニ付キマシテ大藏大臣ノ所信ヲ一ツ國民ニ御知ラセテ願ヒタイト思フノデアリマス

○賀屋國務大臣 經濟上ノ觀點カラ色々細カイ研究ヲシマスルコト云フト、今或ル學者ト云フコトヲ御述ベニナリマシタガ、其ノ人ノ說モ相當ニ理由ハアルト思ヒマス、併シ私ハ國家全體ノ觀點カラ、只今ハ郵便貯金ノ利下ヲスベキ時期ニアラズト思ヒマス

○伊藤(五)委員 安心ヲ致シマシタ、次ニ私ノ御尋ネ致シタイノハ、政府ハ去ル一月ノ十六日ノ定例閣議デ、行政考査制ヲ實施スルコトニ決定致シタノデアリマス、此ノ行政考査制ニ於テハ、私ハ豫算ノ施行ガ果シテ妥當嚴正ニ行ハレテ居ルカドウカト云フコトヲ調査スルコトモ、此ノ行政考査制ノ仕事ノ一ツニナツテ居ルト思フノデアリマス、果シテサウダトスルト云フト、大藏

省ハ大藏省自體ノ豫算ノ施行ハ勿論ノコトデスガ、大藏省以外ノ各省ノ豫算ノ施行ガ果シテ妥當嚴正ニ施行セラレテ居ルカドウカト云フコトヲ調査スル所ノ義務ガアルト思フノデアリマス、私ハ一昨年ノ議會ニ於テモ、此ノコトニ付キマシテ時ノ櫻内大藏大臣ニ之ヲ質問シタノデアリマス、大藏省ト云フモノハ、各省ノ豫算ヲ事前ニ調査スル所ノ責任ト義務ヲ持ツテ居ルト私ハ思フノデアリマス、是ダケノ厩大豫算ヲ編成致シマシテ、各省ガ自由勝手ニ此ノ豫算ヲ使フト云フコトハ斷ジテナラナイト思フノデアリマス、ソコデ大藏大臣ハ此ノ際勇斷ヲ揮ハレマシテ、此ノ行政考査制ニ於テハ、少クトモ各省ニ大藏省ノ會計專屬官ヲ派遣サレマシテ、事前ニ豫算ヲ嚴正公平ニ使ハレテ居ルカドウカヲ檢討シ、サウシテ所謂事前調査ノ形式デ、各省ノ豫算ヲ一錢ノ無駄モナク嚴正ニ使フト云フコトガ必要デアルト思フノデアリマス、斯ウ云フ點ニ付キマシテ大藏大臣ノ御考ヘヲ御伺ヒ致シタイノデアリマス

○賀屋國務大臣 御趣旨ハ洵ニ御尤モデアリマスガ、斯ウ云フコトヲ考ヘナケレバナラヌト思フノデアリマス、各省ハ國ノ行政ヲ其ノ方面デ擔當シテ居ルノデアリマス、各省ハ無駄使ヒラスルモノ、大藏省ハ止メルモノ、斯ウ云フコトデハ、大イニ能率ヲ擧ゲテ、此ノ大東亞共榮圈ヲ完成シヨウト云フヤウナ時ニ、互ヒニ足ヲ引張ツテ、惡イコトヲ止メタルコトニ專念スルヤウナ程度デハ、トテモヤリ切レルモノデハナイ、各省自體ガ其ノ行政目的ヲ能ク認識シ、是ハ厩大ナ國民ノ負擔ニナルノデアルカラ、厩毫モ苟モセズ使フ、サウ云フコトニシテ行

クコトニオヒヒニ協力シテ行キタイト思ヒマス、サウ致シマセヌト、事前ニ一々豫算ヲ紐ンダモノヲ、又大藏省ガ見ルト云フヤウナコトニ致シマスレバ、若干ノ經費ノ節約ハ假ニ出來ルトシマシテモ、此ノ行政能率ハ益々擧ゲナケレバナラヌ時デアリマスカラ、相共ニ協力シマシテ、御趣旨ヲ達成スルヤウニ、皆ガ其ノ氣持デ行クト云フコトニ致シタイト、斯様ニ存ジテ居リマス

○伊藤(五)委員 是ハ中々困難ノ問題ノヤウデアリマスケレドモ、私ハ將來ニ於テハサウ云フ風ナ所マデ此ノ事前監査制ト云フモノヲ擴大シテ行カナケレバナラヌト思ヒマス、ソコデ少クトモ先ヅ醜ヨリ始メヨ、大藏省自體ニ於テハ事前調査ト云フコトヲオヤリニナルコトガ必要デアルト思ヒマスガ、ソレニ對シテ大藏大臣ハドウ御考ヘニナリマスカ

○賀屋國務大臣 今申上ゲマシタヤウニ行政各部ガ活潑ニ而モ慎重ニ動カナケレバナリマセヌノデ、部内ニ於キマシテモ一々事前ニ調査致シマスルコト云フコトハ、却テ能率ヲ害スルト思ヒマス、無論會計課デアリマストカ、次官デアリマストカ、サウ云フ事前ニ決定ヲスベキ機關ガ慎重ニヤリマスコトハ勿論デアリマスガ、新タニ別ニ機關ヲ設ケマシテ、ソレガ一々相談ヲ受ケテ致スコトハ、只今ノ所ハ致サヌ積リデアリマス

○伊藤(五)委員 私ハ新タニ機關ヲ設ケルコト云フ意味デハナイノデス、此ノ行政考査制ニ於テ其ノ豫算ノ施行ヲ事前ニ調査ラスルコトガ當然ダト思ヒマス、サウ云フ風ニ大藏省ハ御考ヘニナツテ事前調査ノ範ヲ示サレテハドウカト云フノデス

○賀屋國務大臣 事前ニ致シマスコトハ、私ハ能率ヲ害スルト思ヒマス、ソレデ事前ニ致シマセヌデ、能ク目的ヲ達スルヤ否ヤヲ考査シマシテ、サウシテソレヲ使ヒマス各局長ナリ何ナリガ能ク調査シテ、若シ前ニヤリマシタ使ヒ方ガ宜シクナケレバソレヲ改メ、斯ウ云フ風ニ致シタイト思ヒマス

○伊藤(五)委員 是ハ餘リ押問答ヲシテモドウカト思ヒマスガ、サウ云フコトヲスレバ國民ガヤハリ政府ヲ非常ニ信賴スル、ソレデ尙ホ將來御考ヘ願ヒタイト私ハ思ヒマスソレカラ私ハ簡單ニ御伺ヒシタイノデスガ、浮動購買力ノ吸收ト云フコトハ、今度ノ戰時財政經濟ヲ運營スルニ付テ非常ニ重大ダト思ヒマス、ソコデ其ノ一ツノ方法トシテ、モウ此ノ大東亞戰爭ノ厩大豫算ヲ編成シテ居ルノデアルカラ、ヤハリ巨額ナル富籤ヲ發行シテ、浮動購買力ヲ吸收スルコトガ必要ダト思ヒマス、此ノ點ニ付テハ大藏省モ御研究ニナツテ居ルヤウデアリマスケレドモ、少クトモ私ハ五億圓、十億圓程度ノ富籤ヲ發行シテ、此ノ浮動購買力ヲ吸收スルコトガ、健全ナル戰時財政經濟ヲ運營スルニ適當ナルコトト思フノデアリマス、之ニ付キマシテ大藏大臣ハドウ御考ヘニナツテ居リマセウカ

○賀屋國務大臣 其ノ問題ハ御話ノ如ク相當研究ヲ致シテ居リマス、ドウモ色々考慮スル點ガアリマシテ、此ノ議會ニハソレニ關シマスル法律案ヲ提出致サナイコトニ致シマシタ、併シ是ハ今後ドウシテモ出サヌト云フ意味デハアリマセヌ、ドウモマダ研究スベキ點ガ殘ツテ居リマスノデ、此ノ議會ニハ出サナカツタノデアリマスガ、尙ホ

今後研究致シタイト思ヒマス

○伊藤(五)委員 先程カラ委員トノ間ニ質問ガ展開サレテ居ルノデアリマスガ、大東亞戰ノ進展ニ連レテ近イ將來ニ於テ二回、三回ト云フヤウニ大増稅ヲセラレルコトハ必至デアルト私ハ思フノデアリマス、ケレドモ私ハ此ノ點ニ付キマシテハ、モウ既ニ前ノ委員カラ申サレタカラ詳シクハ申上ダマセスガ、唯一ツ私ガ申上ダテ置キタイコトハ、大増稅ヲスルニ當リマシテヤハリ御考ヘテ願ヒタイコトハ、贅澤ナ方面ニ使ハレル消費ヲ徹底的ニ禁止ヲスル、サウシテ其ノ禁止ヲセラレタ所ノ資材ヲ必要ナル軍需方面ニ向ケルト云フヤウナ心構ヘテ以テ、贅澤消費ニ付キマシテハ、徹底的ナ間接稅ノ増徴ヲスルコトガ必要ダト思フノデアリマス、即チ禁止的ニ大増稅ヲシナケレバナラナイ時期ニ達シテ居ルノデハナイカト思フノデアリマス、此ノ點ニ付キマシテ大藏大臣ハ一體ドウ御考ヘニナツテ居ルデアリマセウカ

○賀屋國務大臣 御説ハ御同感デアリマシテ、曩ニ御協贊ヲ經マシタ七十七議會ノ増稅案ニ於テモ、例ヘバ藝者ノ花代ノ如キモ一〇〇%、娛樂ノ入場稅ニ付キマシテモ、五圓以上ニ付キマシテハ八〇%ト云フヤウナ、或ル人カラハ稅デハナイト云フヤウナ批評モ受ケマシタガ、私ハ一向構ハズ、マダ少シ手緩イデヤナイカト思フ位デ、相當ナル積リデアリマス、今後モ御話ノヤウニ此ノ戰爭目的ヲ貫キ、最低限度ニ國民生活ヲ確保シマス爲ニハ、資材勞力ヲ出來ル限リ全部其ノ方面ニ集中スル必要ガアリマスノデ、直接私ノ所管ノコトデアリマセスガ、私トシマシテハ所謂贅澤品ナドモ製

造禁止シ、ソレニ依ツテ資材勞力總テノモノヲ必要ナ方面ニ轉換スル、或ハソレガヤリ方トシテ適當デナイ場合ニハ極力高率ノ課稅ヲ致シテ行ク、斯ウ云フ方針ヲ考ヘテ居リマス

○伊藤(五)委員 モウ一點御伺ヒシタイノデスガ、是ハ實ハ大藏大臣ニ聽イテ宜イカ、厚生大臣ニ聽イテ宜イカ分ラヌノデスガ、大藏省ニ於テハ國家資力ノ研究ヲヤツテ居ラレルサウデアリマスガ、國家資力ノ根柢ヲ成スモノハ國民生活ノ最低限度、是ガ基礎ニナルト思フノデアリマス、隨テ國民生活ノ最低限度ニ付キマシテハ、大藏省自體ニ於テモ如何ナルモノガ國民生活ノ最低限度デアルカ、之ヲ國民ニ知ラセル必要ガアルト思ヒマス、大藏大臣ハ議會ニ於テ、委員會ニ於テ、凡ユル機會ニ於テ國民生活ノ最低限度ノ確保ト云フコトヲ言ツテ居ラレルケレドモ、是ハ非常ニ抽象的デアリマス、國民生活ノ最低限度ト云フモノハ、唯物理的ニ食ツテ行クダケデアリマセヌ、是ハ政治的ニモ、經濟的ニモ研究致シマシテ、茲ニハツキリシタ概念ヲ全體國民ニ知ラシテ置ク必要ガアルト思ヒマス、此ノ國民生活ノ限度ナラバ何人モハ忍バナケレバナラヌト云フコトヲ全體國民ニ知ラシテ置ク必要ガアルト思ヒマス、ソコデ大藏大臣ハ國民生活ノ最低限度ト云フコトヲハツキリト此ノ際此ノ席上ニ於テ吾々ニ御知ラセテ願ヒタイト思ヒマス

○賀屋國務大臣 洵ニ御尤モノ御質問デアリマス、國民生活ノ最低限度、其ノ意味如何ト云フコトニ付キマシテハ、私ハ健康ヲ維持増進ヲスル、サウシテ戰時下ニ於テ必要ナル學術技藝ヲ習得ヲスル、大體斯ウ考

ヘテ居リマス、然ラバソレヲヤル生活ノ程度如何、斯ウ云フ問題ニナル、其ノ意味ノ御質問デアラウト思ヒマス、是ハ今御述べニナリマシタヤウニ、獨リ大藏省ノ關係スル所デナク、政府全般トシテ研究スベキ問題デアリマスガ、併シ大藏省トシテモ種々研究ヲ致シテ居リマス、唯然ラバ如何ナルモノガ國民生活ノ最低限度デアルカト云フコトヲ申上ダナイカト申シマスルト、之ヲ何デ現ハスカ、普通ニ簡單ニ考ヘマシレバ、何圓ノ生活ガ最低限度デアルカト云フコトガ簡單ノヤウデアリマスガ、併シ是ハ研究ヲシテ見マスト、一律ニ何圓ト云フコトハ中々現ハセナイノデアリマス、極ク二、三ノ事ヲ申シマシテモ、家賃ガ要ルカ要ラナイカ、ソレカラ又家賃ガ要ラナイトシマシテモ、借地デアリ、比較的廣イ土地ヲ借りテ居ル者モアリマス、土地ガ自分ノモノデアツテモ、又ソコニ持ツテ居ル土地ノ從前カラノ續キデ地租ノ餘計拂フヤウナ場合モアリマセウ、ソレカラ其ノ人ノ健康狀態ニ依リマシテ又色々考ヘラレマス、都會ト田舎トデモ違ヒマスシ、各般ノコトヲ研究シテ參リマスト實ニ複雑デアリマス、一定ノ型ヲ出シマス爲ニ、却テ色々誤解ヲ生ジタリスルコトモアリマスノデ、ドウモ何圓ト云フ風ニハ出セマセヌ、アトハ色々例ヘバ食物ナラバ「カローリ」ハ幾ラト云フコトハ厚生大臣カラモ何時カ御話ガアリマシタガ、脂肪ガ幾ラ、澱粉ガ幾ラ、蛋白質ガ幾ラト並ベマシテ、更ニ「ヴィタミン」「エー」「ビー」「シー」ヲ並べ、一切衣食住ヲ並ベマシテモ、又要ラ得ナイコトニナリマシテ、實ハ其ノ點ハ打明ケテ中シマスト困難ヲ感ジテ居リマス、又人々ノ境遇ト云フ

コトモアルノデアリマス、サウシテ是ハ眞ニ國家ノ爲ニ最低限度ノ生活ヲスル、才役ニ立ツ爲ニ身體ヲ、自分モ丈夫、ニシ子供モ丈夫ニシテ置く、必要ナ學問モサシテ置く、ソレ以外ノコトハ全部租稅ニ上ダ、餘リガアレバ全部貯蓄ニ廻シテ生産資金ヲ戰費ヲ作ラウト云フ自覺ヲ國民ニ皆持ツテ戴カナケレバナラス、自分ノ幕シハ自分デ能ク分ルノデアリマスカラ、眞面目ニ斯ウ考ヘテ戴ケバ、是ハ十分ニ出來ルコトデアリマス、一方或ハ食物ナラ食物ニ付キ、或ハ住居ナラ住居ニ付キ段々ニ各種團體等デ研究モ致シテ發表サレタモノガアリマスレバ、ソコデ客觀的ノ基準ヲ見ナガラ各自自分ノ心ニ內省シテヤツテ戴ケバ出來ルデアラウト思ヒマスノデ、ツイ今日マデ型ニ嵌ツタヤウナ基準ヲ申上ダレルコトヲ致シマセヌノデアリマス、併シ今後皆内省ヲシテ自分デ能クマデヤルトシマシテモ、皆テ其ノ標準ハドシナモノデアラウカト云フコトモ皆欲シイノデアリマスカラ、尙ホ研究ヲ續ケマシテ、ソレニ適切ナル材料ハ發表シテ參リタイ、斯様ニ思ツテ居リマス

○伊藤(五)委員 是ハ私ハ獨リ大藏大臣ニ對シテノミ御質問スルコトハドウカト思ヒマスガ、實際國民ノ最低限度ノ生活ハドウダト云フコトヲ吾々ハ到ル處ニ於テ質問ヲ受ケル、政府自身ガ國民生活ノ最低限度如何ト云フコトヲ發表シナイト云フコトハ私ハ全く遺憾ニ堪ヘナイト思ヒマス、其ノ概念、輪廓ガハツキリシナイデ國民ニ唯最小生活ヲヤレト云フコトダケ言フコトハ、是ハ政府ノ執ルベキ態度デアナイト思フノデス、ドウカ其ノ點ニ付キマシテハ御研究ヲ願ツテ一日モ早く天下ニ聲明セラレルコトヲ希

望スル次第アリマス、最後ニ一點御伺ヒシタイコトハ、簡單ニ申上ゲマスガ、今後政府ハ分類所得稅ノ基礎控除ヲ引下ゲル意思ハアルカナイカ、之ヲ御伺ヒシタイノデアリマス

○賀屋國務大臣 只今提案ヲ致シテ居リマスルモノヨリ更ニ引下ゲルト云フコトハ困難デアラウト思ヒマス

○伊藤(五)委員 私ノ質問ハ是デ終リマシタ

○勝委員長 小野君

○小野(謙)委員 私ハ極メテ簡單ニ一、二ノ點ニ付キマシテ御質問シタイト思ヒマス、是ハ商工省ノ所管ノコトデアリマスガ、大藏省ニ關係モアリ、大藏大臣ハ國務大臣トシテ御答ヘテ願ヘレバ幸ヒト思ヒマス、過般政府ハ纖維製品ノ販賣禁止ヲ命ゼラレタノデアリマスガ、是ハ消費部面ニ對スル大

キナル規正ヲ加ヘル爲ニ所謂切符制實施ノ準備期間トシテ販賣禁止ヲセラレタ、是ハ眞ニ已ムヲ得ナイモノト私ハ考ヘテ居ルノデアリマスガ、此ノ禁止ニ依ツテ業者ノ間ニ與フル衝擊ト申シマセウカ、影響ト云フモノニ關シテ、豫メ商工省ト大藏省トノ間ニ緊密ナ聯繫ヲ執ラレ、何等カ御打合せヲセラレタコトガアルノデアリマセウカ、ソレハ此ノ禁止令ガ出マシタ爲ニ間屋、機業者、小賣業者ノ間ニ於ケル此ノ期間ノ一切ノ手形ノ決済並ニ金繰リガ止ツタノデアリマス、業者ノ間ニハ「モラトリアム」ト言フト當ラヌカモ知レマセヌガ、政府ノ命令ニ依ツテ販賣ヲ禁止セラレタノデアルカラ、隨テ手形ノ決済其ノ他ハ一切出來ナイ、ト云フノハ手持ノ商品ヲ販賣シテ、ソレニ依ツテ決済ヲスルモノガ何等ノ豫告ナシニ販賣ノ禁

止ヲサレタノデ、到底其ノ資金ノ決済ハ出來ナイト云フコトヲ公然申シテ居リマシテ、或ハ警視廳若シクハ地方ノ警察ナカニサウ云フ問題ガ持込マレテ居ラウト存ジマスノデ、無論大藏當局ニ於テハ御承知デアラウト思フノデアリマス、之ニ對シマシテ何カ豫メ救済ト申シテハ語弊ガアルカモ存ジマセヌガ、應急ノ措置ヲ御考ヘニナツテ居ラレタカドウカ、又新タニサウ云フ措置ヲ講ゼラレルノ意思ガアルカドウカト云フコトヲ伺ツテ見タイ、是ハ二月ノ一日ニナリマスト販賣ガ出來ルノデアリマスガ、此ノ

決濟ノ問題ハサウ急ニハ解決ヲシナイト云フヤウナ一般ノ狀況デアリマシテ、業者ノ間ニハ相當強イ「ショック」ヲ與ヘテ居ルノデアリマス、之ニ對スル大藏大臣ノ御考ヘ

ヲ此ノ際伺ツテ置キタイト思ヒマス

○賀屋國務大臣 突然ノ販賣ノ差止デアリ

マシテ、業者ニ於テハ非常ナ御不便ト申シマスルカ、困難ガアツタト想像サレルノデアリマス、併シナガラ豫メ豫告シマシタラ出來ナイコトデアリマスノデ、非常ニ御氣

ト毒ト私モ存ジマシタガ、全般的ニ考察シテ已ムヲ得ヌコトト思ヒマス、愈、ヤルト云フ話ノ時ニモ、商工大臣ニ一番心配ナノハ金融ノ點デアリマスト申シテ居リマシタ、一方月末マデ行キマスノデ工合ガ悪イガ、割合短期デアリマスシ、法律上下ドウト云フコトデアリマセヌガ、今ノヤウナ一ツノ大キナ應急ノ措置デアリマスカラ、オ五ヒニ決濟ヲスル、國民ノ一ツノ緊急ノ協力的措置トシテ話モ付クノデアリマス、事々シク法律上ノ措置ヲ執ルト云フコトハ困難デア

ル、一方商工中央金庫ナドニモ然ルベク支拂ノ連絡ヲ執ツテ居ルト云フ商工省ノ御

話デアリマス、マア事實問題デ解決スルノデヤナイカト存ジテ居リマス、丁度月末デア

ルコトト突然デアリマスノトド相當其ノ點私ハ同情致シテ居リマス、尙ホ此ノ問題

○小野(謙)委員 私モ法律デドウト云フヤ

ウナコトハ考ヘテ居リマセヌノデ、何カ業者ノ間ニモ實際ノ營業上ニ宜イコトニシテ

者ノ間ニモ實際ノ營業上ニ宜イコトニシテ金ヲ拂ハヌト云フコトモアルカト思ヒマスガ、相當大キナ金ガ停頓シテ、機業者、問屋方面デ見當ガ付キ兼ネテ居ル、是ガ今ノ商工省關係ニナルカモ知レマセヌガ、配給會社ガ出來テ居リマシテモ、同時ニ在庫品ヲ一切掃キ取ツテ、新タニ配給スルト云フヤウナ機構ガ出來テ居リマセヌレバソレハ今ノヤウナ金繰リノ事情モ若干付イタカモ知レマセヌガ、今ノ所ハ二月一日カラ切符制度ノ販賣ヲ許サレマシテモ、ソレガ直グニドウト云フコトガ間ニ合ヒマセヌノデ、金融關係モ相當困難デアル、斯ウ云フ考ヘラ私ハ持ツテ居リマス、大藏大臣ガ、法律デハ「モラトリアム」ヲ布カヌガ、業者ノ間ノ德義、ソレヲヤルコトハ眞ニ已ムヲ得ナイ、オ五ヒニ解決ヲヤレバドウト云フ御話デアリマスレバ、ソレデモ納マルダラウト思ヒマス、唯此ノ困難ヲ業者ノ責任ノミニシテ勝手ニヤレト云フコトデアレバ、是ハ又業者ノ方ヲ更ニ刺戟スルト思ヒマスガ、只今大藏大臣ノ御考ヘテ拜聽シマシテ私ハ稍満足致シマス

場合、國民ニ對シテ凡ユル方面ニ大ナル消費規正ヲシナケレバナラヌト云フコトハ論ヲ俟タヌ所デアリマス、隨テ纖維製品ニ對スル消費ノ規正モ眞ニ已ムヲ得ナイト思フノデアリマス、所ガ消費ノ規正ダケヲヤリマシテ、生産面ニ對シテハマダ國家トシテ

ノ方針ガ決マツテ居ラヌヤウデアリマス、昨年ノ十一月即チ物品稅實施ノ直前ニ當リマシテ、六大都市並ニ地方ノ中小都市ニ於

ケル「デパート」ノ賣上ハ實ニ一億二千萬圓、

是ハ物品稅ヲ課セラレルカラ前ニ買ツテ置

ケト云フノデ、十一月ニ一億二千萬圓ノ賣上ガアツタサウデアリマスガ、ソレニ對シテ大藏省ハ「デパート」ノ組合ト申シマセウカ、協會ト申シマセウカ、之ニ對シテ其ノ賣上ノ三分ノ一ノ四千萬圓ノ公債ヲ買ヘト云フコトヲ申込マレタト云フコトデアリマ

ス、(「デパート」ノ方デハ現金ヲ以テ商賣ヲシテ居ルノデハナイ、ヤハリ順繰々々ニ金ヲ廻シテ、或ハ手形其ノ他ニ依ツテ金繰リヲシテ商賣シテ居ルノダカラ、現金デ四千萬圓ノ公債ヲ買フノデハトモ商賣ハヤリ切レヌト申シマシテ、大藏省ニ交渉シテ、漸ク半分ノ二千萬圓ノ公債ヲ買ヒマシテ折合ガ付イタ、斯ウ云フ話ヲ伺ツテ居ツタノデアリマスガ、若シ其ノ數字ニ誤リガアリマシタラバ御訂正ヲ願ヒマス、(「デパート」業者ニ公債ヲ買ハセタト云フコトハ運轉資金ノ制限ト申シマセウカ、收縮ト云フ意味ニ於テ、物品稅ハ課セナイケレドモ、サウ云フコトニ依ツテ消費方面ノ規正ニナルノダ、斯ウ云フヤウナ意味ニ局長ノ御答ヘガアツタヤウニ私ハ伺ツタノデアリマスガ、併シソレダケデハヤハリ公債ヲ持チマシタ業者ハ決シテ其ノ公債ヲ金庫ノ中ニ入レテ

持ツテ居ラスノデアリマス、直ぐ銀行其ノ他ニ依ツテ資金化サレルコトハ私ノ申上ガルマデモナイコトデアリマス、ソレヨリモ國家ガ積極的ニ生産面ニ對シテ大ナル規制ヲ加ヘル、生産制限ヲスルナリ、或ハ生産ノ單一化ト申シマスカ、非常ニ規格ノ多イ品物ヲ單一化スルト云フコトモ消費節約ノ上ニ大ナル效果ガアルト思フ、切符制ノ表ヲ見マシテモ、値段ノ上ニハ何モ制限ガナシ、品目ニ依ツテ何點々ト云フコトヲ決メテ居ルノデアリマスカラ、是ハ折角切符ヲ作りマシテモ、消費者ガ自分ノ要求スル物ヲ買ヒニ行ツテモ——専門ノ業者ガ言ウテ居ルノデアリマスケレドモ、恐ラク必要ナ物ハ皆ガ殺到スルカラ無クナル物ガ多イダラウ、必要ナモノハ買ヘナイダラウ、斯ウ言ツテ居リマス、又一方ニハ米國ニ對スル輸出ガ止マツテ居リマス生糸ニ對シマシテ、内地消費ノ轉換ト申シマセウカ、是等ヲ内地ノ大衆ニ消費セシメル爲ニハ、ドウシテモモツト製品ヲ安くシナケレバナラス、安くスル爲ニハ單色ニスルトカ、規格ヲ一定シテ値段ノ安い物ヲ製造セシメルト云フコトニ、國家トシテ強イ力ヲ加ヘナケレバナラスト私ハ思フノデアリマスガ……

○勝委員長 小野君御發言中デスガ、成べく其ノ問題ハ簡單ニシテ下サイ

○小野(謙)委員 サウ云フヤウナ意味合カハ是ハ國務大臣トシテノ大藏大臣ノ御意見ヲ伺ヒタイト思フノデアリマスガ、生産方面ニ大ナル規制ヲスル、先刻申上ゲマシタヤウニ、茲ニ纖維製品ノ在庫品ノ調査ヲシテ、ソレヲ一遍ニ買上ガル會社ガ出來テ居ツテ、ソレニ依ツテ計畫的ニ配給ヲシテ行キ、サウシテ要ラヌ物ハ自然ニ生産ヲ制限

スルヤウナ仕組ニナツテ居リマスレバ、私ガ申上ゲルコトハ要ラヌノデアリマスケレドモ、今ノ仕組ハサウナツテ居ラスノデアリマシテ、是ハヤハリ國家ノ力ガ生産方面ニ及バナケレバ徹底的ノ消費規正ガ出來ナイ、斯ウ考ヘマスノデ、私ハ其ノ點ニ對シテ國務大臣トシテ大藏大臣ニ御答ヘテ願ヒタイト思ヒマス

○賀屋國務大臣 先程昨年十一月ノ百貨店ノ賣上ニ付テノ御話ガアリマシタガ、アノ當時ハ一億圓位デアツテ、普通ナラバ五千圓デアリマスカラ、詰リ五千萬圓ダケ餘計賣レタト、斯ウ承知シテ居リマス、ソレヲ百貨店ノ方デ二千萬圓ダケ國債消化ニ投資シタ、尙ホ商品券ヲ事實上廢止致シマシタ、其ノ爲ニ運轉資本トシテ五百万圓ノ金ガ消費ニ向カクナツテ、結局二千五百万圓ハ、今ノ時代ニ對シテ特別ノ處置ヲ百貨店ノ方デ執ラレタ、斯ウ云フコトニ承知シテ居リマス

ソレカラ消費規正ニ應ジテ同時ニ生産規制ノ問題デアリマスガ、是ハ國策トシテ極メテ重要デアリマス、昭和十二年以來色々ナ角度カラ段々參リマシテ、原料、製品、勞力、配給等ニ付テ計畫的ニ進ンデ居リマス、是ハ一貫シタ大キナ政策デアリマス、強化ト申シマスカ、今後之ヲ益々適正ニ強メテ行クト云フコトガ大イニ必要デアリマス、是ハ私ノ方ノ所管デアリマセヌカラ、具體的ニドノ位ノ程度ニ參ツテ居リ、更ニ何處ヲ改善シテ行クベキカト云フコトハ申上ゲラレマセヌガ、今後尙ホ一層強化スベキ點ニ付テハ強化シテ參リタイ、大體消費ノ規正ト云フモノハ、生産ノ規制ト兩方カラ睨合セテ調和ガ取レテ參ラナケレバイカヌ

問題デアリマス、生産ニ付テハ大體サウ云フ方針デ進ンデ參ツテ居リマス

○小野(謙)委員 アトノ生産規制ニ對スル商工大臣ヘノ質問ハ別ノ機會ニ讓リマシテ、大藏大臣ニ對スル質問ハ是デ終リマス

○勝委員長 次ハ小畑君

○小畑委員 先刻伊藤君カラ國民消費規正ニ關スル質問ガアリマシタガ、此ノ事ハ固ヨリ今私カラ申上ゲルマデモナク、皆サシカラ色々御話ニナツタコトデゴザイマスガ何ト云ヒマシテモ租稅政策ノ根本問題トシテハ、國民消費規正ノ問題ガ何時ノ場合デモ前提ヲナスモノデアルガ、今回ノ増稅ノ目的ニ示サレマシタ國庫收入ノ増加ト云フ點カラ申シマス、是ハ成ルベク澤山税金ヲ取ツタラソレデ宜シイト云フコトニナル、第二ノ目的ノ戰時財政ノ強化ト云フ點カラ行キマス、是モ成ルベク澤山税金ヲ取ツタラ宜シイ、唯其ノ財政資金トシテ公債等ニ依ル部分ト、租稅ニ依ル部分トノ振當テラドウスルカト云フ問題ガ殘ルダケデアリマシテ、結論ハ成ルベク澤山税金ヲ取ツタラ宜シイト云フコトニナルデアリマス、唯問題ニナリマスノハ、第三ノ國民消費ノ方面デアリマス、消費ノ方面ヲドウスルカ、斯ウ云フコトデアラウト思フノデアリマス、税金ハ成ルベク澤山取ツタラ宜シイノデアリマスケレドモ、ソレハ産業資金ノ方面ト消費資金ノ方面トカラモ制約サレルコトニナル、産業資金ノ方面ハ、之ヲ切下ゲルコトハ、生産擴充其ノ他ノ見地カラ申シマシテ、是ハ容易ニ出來ナイト云フコトニナリマス、結局弾力性ヲ持ツモノハ國民消費ノ方面デアアル、ソコデヨク流行ツテ居リマス國民生活ノ最低限度ト云フコトガ問題

ニナルノデアリマスガ、私ハドウシテモ之ヲ速カニ徹底シナケレバ租稅政策モ立ツテ來ナイシ、財政産業政策モ立ツテ來ナイト思フノデアリマスガ、此ノ國民消費規正ノ方策トシテ用ヒラレテ居リマスモノハ、租稅政策デアルトカ、或ハ切符制デアルトカ、會社經理統制デアルトカ、其ノ他賃金統制ト云フヤウナ色々ナ方式ガ用ヒラレテ居リマスガ、大藏大臣ハ、國民消費規正ノ方策トシテハ、只今行ツテ居ラレル各種ノ方策ヲ強ク押進メテ強化スルト云フコト以外ニ新シキ構想ヲ御持チニナツテ居ラスノデアリマセウカ先ツ其ノ點ヲ伺ヒタイト思ヒマス

○賀屋國務大臣 私ハ別ニ飛離レテドウト云フコトハナイト思ヒマス、今ノ現狀デ行ツテ居リマス消費規正ノ方ハ、物資ノ供給面カラ參リマシテ是位シカ供給能力ガナイ、ソレヲドウ云フ風ニ使フカ、大體是ガ主眼デ皆來テ居ルノデアリマス、要スルニ是ハ物資ヲ主眼ニシタ行キ方デアリマス、ソレハモウ絕對デアリマシテ、米ガ是ダケシカナイト云フノニソレ以上使フ譯ニハ參リマセヌ、外ノ物モ皆サウデアリマス、サウシテソレガ段々ニ品目其ノ他ニ於テ殖エテ參ルト同時ニ、其ノ配分ノ標準ニ付テ實情ニ合フヤウニ複雑化シ、巧妙化シテ行クト思ヒマス、是ガ大事デアルト思フ、當初ハ實情ヲ識別スルコトハ中々困難デアリマス、所謂棒平均デ誰デモ何合何合、是ハモウ已ムヲ得ヌノデアリマス、併シソレガ段々實際ニ應ジテ、二合三勾ト云フケレドモ、特ニ肉體勞働ヲ大イニナル者ニ付テハ増ストカ云フヤウニ、自然ニ必要ニ應ジテ是ハ變化スル、段々斯ウ云フ風ニ適切化シテ行

クト思ヒマス、是ハ又物資ノ種類ニ於テモ、段々私ハ殖エテ行クノデヤナイカ、品物ノ總量ガ是ダケシカナイカラ、是ダケデ何トカ間ニ合スト云フ風ニ、段々國民ノ生活全體ガ適正ニ行ク色ガ加ハツテ行ク、サウ云フ意味ニ於テハ新シイ構想ガ加ハルト申シテ宜シト思フ、ソレ以外ノ方面ニ於キマシテハ私ハ大體自治的ニヤツテ貰フノガ宜シイ、斯ウ思フノデアリマス、私ガ所謂強制貯蓄ヲヤラヌト云フコトハドウ云フコトカト申上ゲマス、強制貯蓄ヲヤル時ニハドウシテモ標準ヲ作ラナケレバナラス、其ノ標準ト云フモノハドウシテモ萬人ニ通ズルモノト云フコトニナリマスカラ、サウ無理ガ出來ヌト云フコトニナル、ドウシテモ是ハ甘イモノニナル、サウスルト、強制的ナ標準ガ決マルト、先ヅソレダケヤレバ宜シイノダト云フ觀念ニナリマス、私ハソレヲヤツタラ必ず貯蓄總額ト云フモノハ減ツテ來ルト思フ、其ノ上ニ強制シテヤラセルト云フコトハ、同時ニ國債ナラ強制的ニ賣拂ヲ止メル、法律ノ名ニ依ツテ許シタ場合シカ出來ナイト云フコトニシナケレバナリマセヌ、是ガ私ハ到底ヤツテハ行ケヌコトダト思フ、誰ニ許可ヲ得ルカ、警察署長ニ認メサセルカ、ドウスルカ、一々今十圓出サナケレバナラス、百圓出サナケレバナラス、之ヲ法律的ニ許ス、命令等ヲ拵ヘテ行クト云フヤウナコトハ煩瑣ニ堪ヘナイコトデアアル、ドウシテモ是ハ自治的ニ自分デ考ヘテヤル、自分ガ一番能ク分ルノデアリマス、ソレデ行ケヌノハ、ソレハ心掛ノ惡イ人ガアツテヤラヌカラト云フコトニナリマス、大局ヲ見マストドウシテモ私ハ強制シテヤルヨリハ各自ノ自覺ニ憑ヘテヤル方ガ結果

ガ宜シイシ、又ソコマデノ自覺ヲ持ツテ貰ハヌコトニハ、此ノ世界ノ大敵ヲ向フニ廻シテ國家ノ存立ヲ維持シテ、大東亞共榮圈ノ建設ナドトテ資格ガナイコトニナルト思フ、ドウシテモソコニ行カナケレバナラス、ソコデ私ハ飽クマデモ法律ニ依ル強制貯蓄ト云フモノハヤリタクナイ、申合セニ依ツテ強制的ニヤラレルコトハ是ハ必要デアリマスガ、サウ云フ考ヘ方ヲシテ居ル、消費規正ノ部面モ今ノヤウナ物資觀點カラ行ク、已ムヲ得ナイ場合ニハソレヲ規定化シマスケレドモ、凡ユル物ヲ其ノ必要ノナイヤウニ行クト云フコトハ、是ハ人間ノ社會生活ト云フモノヲ徒ラニ窮屈ニシ、不平ヲ増シ、面白クナクスルモノデアリマス、ソコデ人間ト云フモノハ強制的標準ヲ與ヘザレバ惡イコトヲスルモノダト云フヤウナ考ヘラ除ケマシテ、出來ルダケ自發的ニ行ク、併シ自發ハ先程カラモ話ガアリマシタヤウニ、ヤハリ客觀的ニ斯ウ云フモノダト云フ、識者ト云フカ、能ク研究シタ人ノ説ガ色々ソコニ出マシテ、ソレデ自分ノ考ヘラ纏メテ行ク譯デアリマスカラ、サウ云フモノヲ出シテ行キタイ大體斯ウ云フ考ヘ方デアリマス

大藏大臣ノ御考ヘ方ハドウ云フコトデアアルカハ知レマセスケレドモ、人ニ依リマシテハ浮動購買力ト云フモノハ物資ト、ソレカラ貨幣トノ均衡ヲ得ナイ差額カラ出タモノデアルト云フ風ニ考ヘテ居ル人モアルヤウデアリマス、其ノ點ハ兎ニ角ト致シマシテ、私ガ茲ニ用ヒマス浮動購買力ト稱シマスノハ、最低限度ノ國民消費過剩部分カラ出テ來タモノ、斯ウ云フ風ニ御承知置キテ願ヒタイト思ヒマス、其ノ購買力ノ、浮動購買力ノ問題デアリマスガ、私ハ此ノ浮動購買力ヲ租稅ニ依ツテ吸收スルト云フコトノ必要ナルコトハ勿論認メマス、昨年ノ臨時議會ニ於キマシテ間接稅中心ノ增稅ガ行ハレマシタガ、此ノ時ニモ御説明ガアツタヤウデアリマスシ、今度直接稅中心ノ增稅ガアリマシテモ、ヤハリ購買力ノ吸收ト云フコトガ目的ノ一ツニ入ツテ居リマスガ、私ハ國民ノ中ニ此ノ租稅政策ヲ以テ吸收シ得ラルベキ購買力ト、租稅政策ヲ以テシテハ到底吸收シ得ザル購買力トアル、斯ウ云フ風ニ思フノデアリマス、例ヘバ吾々ノヤウナ金ノナイ階級ニ致シマスルト、租稅政策ヲ以テ、例ヘバ分類所得稅中心ノ租稅ヲ以テ臨マレマスルナラバ、吾々ノ購買力ハ是ハ吸收サレルデアリマセウ、或ハ階級ニ依リマシテハ購買力ノ吸收ト云フノデハナクテ生活ノ壓迫ト云フ程度マデ將來行ク時期ガアルカモ知レマセヌ、併シナガラ間接稅ヲ取ツテ、「マッチ」ニ對スル租稅課ケタリ、或ハ是ハ税金デアリマセスケレドモ、煙草ノ專賣利益ヲ殖ヤス爲ニ煙草ノ値上ヲシタリ、或ハ進シテ遊興飲食稅ノ率ヲ上ゲルトカ云フヤウナコトヲ致シマシテモ、左様

ヲ持ツタ所ノ階級ガ私ハ日本ニアルト思フ、幾ラ遊興稅ヲ御上ゲニナツテモ、各方面ニ於ケル遊興ヲ抑ヘルコトハ出來ナイ、非常ニ金ヲ使ツテ居ル所ノ階級ガアル、一面ニ於キマシテ此ノ間接稅、直接稅ノ增稅ニ依リマシテ購買力ノ吸收ノ程度ヲ超エナケレバナラス事態ガ起ツテ來ルカモ知レナイ、詰リ租稅政策ニ依ツテ購買力ヲ吸收シ得ル對象タル國民ハ大多數デハゴザイマセウガ、ソレハ全部デハナイ、國民ノ一部ニハ租稅ヲ納メテモ、納メ切レヌ程金ガ儲カツテ居ル階級ガアル、ソレ等ノ國民ニ對シテ租稅政策以外ニ何等カノ方法ヲ講ズルニアラズンバ、私ハ日本ノ財政經濟ガ合理的ニハ進ンデ行カナイノデハナイカ、斯ウ云フコトヲ考ヘルノデアリマスガ、大藏大臣ハドウ云フ風ニ御考ヘデゴザイマセウカ

○賀屋國務大臣 購買力ノ吸收ハ十七年度モ的確ニ數字ハ申上ゲ兼ネマスガ、大體三百億近イト思ツテ居リマス、其ノ中所謂國民貯蓄ノ増加、是ハ有價證券投資アリ、銀行預金アリ、様々ナ形デアリマス、是ガ先ヅドウシテモ四分ノ三位デセウ、租稅ガ七十億、サウ云フモノガ二百二、三十億、サウ云フコトニナリマス、大部分ハ、數量ノ上カラ申上ゲマス、租稅以外ノ方法デアリマス、併シ租稅モ非常ニ大キナモノデアリマスカラ、決シテ見逃スコトガ出來ナイノデアリマス、唯此處デ私ガ一言申上ゲテ置キタイノハ、別ニ誤解モナイト思ヒマスルガ、增稅ノ目的ノ所ニ購買力ノ吸收ト云フコトガアリマスガ、私ハ其ノ直接購買力吸收ノ目的ニシテ稅率ヲ盛ラナイノデアリマス、寧ろ是ハ負擔力及ビ幾ラ國家デ收入ガ要ルカト云フコトデ稅率ヲ盛リマシテ、

其ノ結果ガ購買力吸收ニナルノデアリマス、是ハ稅率トシテハ五割ガ適當ダガ、購買力吸收ノ爲ニ六割ニシロ、斯ウ云フコトハ決シテ致シマセヌ、ソレハ必ラズ他ノ觀點カララ國庫收入ノ増加、負擔力ト云フ觀點カラ致シテ、稅率トシテハ相當ニハ高イモノデアリマスカラ、所謂購買力吸收ニ結果的ニ資スルト云フ考ヘ方ヲ致シテ居リマス、大體ハ私ハ數量的ニ申上ゲマスレバ、所謂國民貯蓄ノ増加デ行ク、增稅モ相當ナ主要ナ部分ヲ占メル、ソレニ付テ國民ノ各層ニ於ケル問題デアリマスルガ、中々租稅ノ負擔ニ耐ヘルノニモ困難ナ方面モ無論アリマセウ、併シ租稅ヲ納メテモ餘裕ノアル生活ノ出來ル部面モアリマセウガ、併シサウ云フ生活ノ出來ル部面ニ於キマシテモ、稅率トシマシテハ、御承知ノ如ク綜合所得ノ最高ハ七二%ト云フ風ナ相當高率ナモノヲ課シテ居リマス、所得ガ多イ爲ニ納メテモ餘裕ハアリマセウケレドモ、相當多額ナ租稅ヲ納メルコトニモ相成ツテ居ルノデアリマス、其ノ邊ハ社會全體ノ觀念カラ適正ヲ得ルコトニ進メヨウト思ヒマス、而シテ尙ホ高率ナ租稅ヲ納メマシテモ、生活ノ餘裕ノアル方面ハ、是ハ國民トシテ十分ニ自肅シテ實ヒタイ、金ガアルカラ大ツビラニ生活ヲ派手ニスルト云フコトハ、私ハ餘程今日改マツテ參ツテ居ルト思ヒマスガ、尙ホ是ハ自覺ニ依ツテ十分ニ其ノ點ハ覺醒シテ實ヒタイ、斯様ニ存ジテ居リマス

マシテ多額ノ所得ヲ有スル者ニ對シテハ多額ノ稅金ガ課カツテ居ルノデアリマスルケレドモ、例ヘバ近時會社ガ續々ト澤山出來テ來マシタ、ソレカラ各種ノ組合ガ澤山出來テ來タ、ソコデ例ヘバ會社デアルトカ、組合デアルトカ云フモノノ實際費ト云フモノガドウ云フ風ニナツテ居ルノカ知リマセヌガ、私共ノ目撃スル所ニ依リマスルト、小サイヤウナ話デアリマスルガ、遊興飲食等ヲスル人達ガ多ク會社關係ノ人デアリ、又組合關係ノ人デアリ、又其ノ他ノ人達モ居リマスガ、サウ云フヤウナ方面カラ餘程遊興飲食等ガ殖エテ來タノデハナイカト私共ハ思フノデアリマス、ソレ等ニ消費セラルベキ資金ハ、遊興飲食稅トシテハソレハ課稅ノ對象ニナツテ居リマスケレドモ、其ノ人ノ所得ノ中カラハ課稅ノ對象トナツテ居ラヌト云フコトガ多イノデヤナイカト思フノデアリマス、ソレカラ是モ小サイイ話デアリマスガ、例ヘバ會社、組合或ハ官廳等ノ出張旅費等ニ關シマシテモ、例ヘバ官吏ノ出張旅費ニ關シマシテモ、奏任官以上ハ汽車賃ハ一等ノ旅費ヲ支給サレテ居ル、併シ奏任官ノ人デ一等ノ汽車ニ乘ル人ハ少ナク、實際ハ二等ニ乘ツテ行ク、或ハ人ニ依ツテハ三等ニ乘ツテ行ク、ソレハ其ノ人ガ儉約ヲスルノデアルカラ宜シイケレドモ、其ノ部分ハ過剩デアルト云フコトニナル、官吏ノ方ハ多ク地方ニ出張サレルノデアリマスカラ、ソレデ宜シイヤウナモノノ、會社、組合等ニ依ル旅費規定ナンカヲ見マシテモ、其ノ所ニ依ツテ違ヒマスケレドモ、實際ノ實費ヨリハ相當多額ニ計算ヲシテ支給サレテアル、是等ノ人達ニ對スル一般ノ待遇ガ高イト云フノデヤナイ、待遇改善

ノ問題ハ別個ニ考ヘルト致シマシテモ、ソレ等ノ實際ニ必要ナラザル支給ヲ會社、組合其ノ他ニ於テ致シテ居ルノデアリマス、例ヘバ大阪カラ東京ヘ出張シテ參リマシテモ、其ノ部分ガ東京ニ於ケル購買力トナツテ現ハレルト云フヤウナコトガアリハシナイカ、ソレガ全國國民ノ全部ノモノニ及ボスト云フコトモアリ得ルノデアリマスガ、是等ノ極メテ小サイイ點ニマデ御配慮ヲ願ツテ、ソシテ眞ニ稅金ノ對象トナラザル國民所得ト云フモノハ澤山ニハナイ、少數ノ例外ヲ除イテハ國民所得ハ其ノ殆ソド全部ガ課稅ノ對象ニナルモノデアルト云フコトニ御盡力ヲ願ツタラ如何カト思フノデス、是ハ一例デアリマス、左様ニ思フノデアリマスガ、大臣ハ何ト御考ヘニナリマスカ

カラ、ソレデ所謂稅ヲ免レル經費——ドウセ臨時利得稅ドウント取ラレルノダカラ、使ツテシマツテモ半分ハ稅金ニナル所ガ出タノダ、マアサウ云フ不謹慎ナ人モナイノデアリマスガ、俗ニハサウ云フコトモ申スノデアリマス、ソナコトハ大體ニナク、一定妥當ト認メラレル範圍内シカ經費トシテ認メマセヌ、ソレデ大體サウ云フコトハナイト云フコトニ致シマシテ、稅ノ規定ノ上デハサウ云フモノヲ舉ガマセヌデシタ、今ノヤウニ會社經理統制令ノ方カラ抑ヘガ付クト云フノデ致シマセヌ次第デアリマス、官吏ノ旅費ノ如キモノモ御話ノヤウナ點モアリマス、又一面昨年ノ增稅ニ依ツテ宿屋ノ宿泊料ナドニモ稅金ヲ課ケマシタ、其ノ爲ニ官吏ニ支給致シマス旅費、日當、宿泊料ナドモ増額ヲ致シマセヌ、今相當苦シイ狀況ニナツテ居リマス、此ノ方面デハ餘リソコニ餘裕ガアルナドト云フコトハ私共考ヘテ居リマセヌ、尙ホ全般ニ付キマシテ、サウ云フ趣旨ニ於テ遺漏ノナイコトヲ努メテ參リタイト存ジマス

○勝委員長 小畑君宜シイノデスカ——次ハ高橋熊次郎君

○高橋(熊)委員 技術的ナ方面ニ入ルヤウデアリマスガ、一應大臣ノ御答辯ヲ願ツテ置キタイト思ヒマスノハ、從來織物消費稅ニ付テハ問題ガアツタノデアリマシテ、殊ニ生糸ヲ原料トスル所謂絹織物ニ付テハ、色々問題ガアツタノデアリマス、近來纖維資源ガ著シク不足シテ參リ、又皮革ガ殊ニ不足デアルト云フ所カラ、生糸ヲ以テ皮ノ代用品ヲ作ツテ居ル、絹織物ヲ以テ之ニ充テルト云フヤウナ方面ガ增加シテ參ツタルノデアリマス、然ルニ絹織物デアアルガ故

ニ織物消費稅ヲ課ケルト云フヤウナコトデ、他ノ同種ノ纖維或ハ皮革等デ作ツタモノノ方ハ消費稅ガ課ツテ居ラナイノデ、ソレトノ均衡ガ取レヌデ、折角進ミ掛ケタ事業ガ頓挫ヲ來スト云フヤウナ憂ヒガアルト、其ノ方面ノ業者ハ非常ニ憂ヘテ居ルノデアリマス、又國策ノ見地カラ言ツテモ困ツタコトト考ヘテ居ルノデ、是等ノ點ヲ伺フノデアリマスガ、從來モ絹織物消費稅ニ付キマシテハ、絹デアルト云フ爲ニ奢侈性ヲ帶ビテ居ルト云フノデ、一律一體ニ消費稅ガ課

カツテ居ル、併シナガラ高級ナモノデアリマシテモ、織物デナイ、編物ダト云フノデ相當高價ナ「メリヤス」類ナドニハ絹製品デアツテモ消費稅ガ課カツテ居ラナイト云フヤウナ例モアツテ、其ノ間ニ均衡ガ取レヌト私共ハ考ヘテ居ツタノデアリマス、是ハ大分問題ニナツテ居リマシタ、近來ハドウ云フ工合ニナツテ居リマスカ分リマセヌケレドモ、高級ナ絹「メリヤス」製品ニハ税金ガ課カツテ居ナイ、ソレハ絹織物デハナイ、編物デアルト云フヤウナコトデ、今マデ税金ガ課カツテ居ラナイト云フヤウナ不合理ナコトモアツタノデアリマス、ソレデ私ノ今同ハントシテ居ル所ハ、今度絹織物デア

ルガ故ニ、贅澤デモ何デモナイ、例ヘバ機械用ノ「ベルト」——絹織物ニ加工シタ「ベルト」デアル、之ヲ絹織物デアルト言ウテ、消費稅ヲ其ノ儘課ケテ居ル、斯ウ云フ不合理ナ事實ガ現在現ハレテ居リ、其ノ方ノ發展ヲ著シク阻害シテ居ルノデアリマス、承リ「マスト」「ドイツ」アタリデハ精巧機械ハ革ヲ用ヒズ、絹織物ノ「ベルト」ヲ使ツテ居ルト云フヤウナコトデ、現在諸種ノ精巧ナ機械ニハサウ云フ「ベルト」ガ附屬シテ我が國ニ入ツテ

參ツテ居リマス、然ルニ我が國デモサウ云フ皮革代用ノ「ベルト」ヲ織ツテ、皮革ヨリモ成績ガ宜シイ、耐久力モアリ能率モ宜シイト云フヤウナモノニ對シテ、絹織物デアルト云フノ織物消費稅ヲ課ケテ居ル、斯ウ云フヤウナ現狀ナノデアリマシテ、是非ハ非常ニ不合理ト思ヒマスガ、何カ之ヲ救済スルヤウナコトガ出來ナイモノデアリマセウカ、又大臣ハ初耳ダト思ヒマスガ、是等ニ付テノ御意向等モ伺ツテ置キマスレバ大變結構ダト思ヒマス

○賀屋國務大臣 御話ノ如ク初耳デアリマス、承ツテ見レバ御尤モノヤウデアリマス、政府委員カラ御答ヘ出來ルドラウト思ヒマス

○松隈政府委員 只今ノ御話ハ絹「メリヤス」ハ比較的高級品デアルニ拘ラズ織物デナイ爲ニ織物消費稅ガ課カツテ居ラナイヤウニ思フガト云フ御尋ネデ、全く其ノ通りデアリマシテ、「メリヤス」ハ編物デアリマシテ織物ト云フ定義ニ入りマセヌカラ、織物消費稅ハ課シテ居リマセヌガ、一方物品稅ニ於キマシテハ「メリヤス」マデ含メマシテ二割ト云フヤウナ相當高率ノ課稅ヲ致シテ居ルヤウナ次第デアリマス

次ニ絹製品ヲ以テ皮革ノ代用ヲスル、殊ニソレガ工業用ノ「ベルト」ニ使ハレル場合ニ於テ、織物消費稅ヲ課スルコトハ如何カ、斯ウ云フヤウナ御話デアリマスガ、吾々モ時々此ノ絹製品ガ所謂衣類以外ノ用途ニ供セラレ、其ノ方面ノ研究ガ進ミツツアルト云フコトハ伺ツテ居ルノデアリマスガ、ソレハ研究ノ程度デアリマシテ、實際商品化サレルト云フヤウナ所マデ來タ上デナイト稅法ヲ改正スルノモ如何カト思ヒマシテ、

今日デハマダ研究ノ程度ト存ジテ、稅法改正ト云フヤウナコトヲ考ヘテ居リマセヌガ、將來其ノ可能性ガ一段ト増シテ、而モ實用的ニナリ、商品トシテ出ルコトガ明カニナツテ參ルト云フヤウナ時期ニ至リマスレバ、相當考慮致シタイ、又致シテ差支ヘナイモノデアルト、斯様ニ考ヘテ居リマス

○高橋熊委員 只今大臣並ニ主稅局長ヨリ御方針ノ程ヲ伺ヒマシテ、私モ大變ニ意ヲ強フスル次第デアリマス、而シテ此ノ不足物資補充計畫等ガ商工省ニ於テソレノ定メラレテ、色々御審議ノ結果、絹製品ノ或ル製品ハ非常ニ良イ結果ヲ現ハシテ、目下商品化シツツアルノデアリマシテ、將來非常ニ大キナモノニナルト思フノデアリマスガ、兎モ角今度ハ一割ノ稅デアリマシテモ、原價ニ非常ニ支障ヲ來タシテ居ルノニ、一割五分ノ税金ガ課カルト云フコトニナレバ、ソレハ非常ニ支障ヲ來スコトニナルト考ヘテ居リマス、ソレニ製品トシテハ「ゴム」「ベルト」皮革「ベルト」等ガアリマスガ、是ハ税金ガ課カツテ居ラス、同ジ製品デアルカラ、價格モソレト睨ミ合ハセテ其ノ程度ノモノデナケレバ認メルコトガ出來ナイト

言ツテ、物價局デ頻リニ詮議ヲシテ居ルノニ、絹「ベルト」ハ織物デアルト云フノデ、加工前ニソレニ持ツテ行ツテ生絲ノ消費ハドレ位アルカト云フヤウナコトデ、之ニ對シテ一割五分税金ヲ課ケルト云フコトニナルト、其ノ製品ト云フモノハ他ノ無稅ノ皮革製品ト對抗シテ參リマスノニハ、非常ニ困難ガ生ズルト思フノデアリマス、是ハ眼ノ前ニ見エテ居ル事實デアリマスカラ、十分御調査ヲ願ツテ置キタイト思ヒマス、是ハヤハリ施行規則ノ方面デ救濟ガ出來ルコト

ニナルノデゴザイマスカ、サウナリマスレバ、議會ニ御諮リニナラズニ勅令事項デ定マルコトデゴザイマスカラ、何時デモ臨機ニ出來ルト云フ風ニ吾々ハ承知致シテ置イテ宜シウゴザイマスカ

○松隈政府委員 今回臨時租稅措置法等ノ改正ニ當リマシテハ、各種政策上租稅ノ輕減免除ヲ致ス必要ガアルモノニ付テハ、一應大藏省デ考ヘマシタ以外ニ、各省ニモ大體其ノ意向ヲ尋ネルコトニ致シテ照會致シタノデアリマスガ、只今ノ絹製「ベルト」ノ問題ハ研究ノ範圍ヲ恐ラク出ナイ、差當リ實用品トシテノ問題ガ起ラナイト認メラレタノカドウカ分リマセヌガ、今ノ所商工省ノ方カラノ申出モゴザイマセヌモノデスカラ、一應臨時租稅措置法ノ上カラハ除カレテ居リマス、唯最モ廣ク解釋致シマスレバ臨時租稅措置法ニハ命令ノ定ムル織物ニ付テハ百分ノ十五トスベキ稅率ヲ十トスルト云フ規定ガ置イテゴザイマス、但シ是ハ只今ノヤウナモノハ豫定シテ居ナイ、商工省トモ相談ノ結果、人造絹織物或ハ更生絲織物等デ大衆ノ生活ニ關係ノ最モ深イ織物ヲ選ビ出ス、斯ウ云フ積リニナツテ居ルノデゴザイマスガ、ソコニ強ヒテ入レレバ入レル餘地ハゴザイマスルケレドモ、最初カラソレハ豫定シテ居リマセヌカラ、今後ノ問題トシテ尙ホ能ク研究スルコトニ致シタイト思ヒマス

○高橋熊委員 モウ一ツ其ノ問題ニ付テ御伺ヒシマスガ、サウスルト臨時措置法ニ依ツテ規定ヲサレルモノデアリマシテモ稅率ガ緩和サレルダケデ無稅ニナルト云フコトノ望ミガ其ノ方面ニ於テハナイト云フコトニナリマスカ、又ハサウ云フモノハ衣料デ

モナシ、工業ノ必要品デアラカラ、是ハ無  
税ニスルト云フヤウナ何カ法令ニ當嵌メル  
規定デモゴザイマセヌデスカ

○松隈政府委員 臨時租稅措置法ハ稅率ヲ  
引上ゲルコトヲ、命令ノ定ムルモノハ据置  
クコトガ出來ルト云フダケノ緩和規定デゴ  
ザイマシテ、織物消費稅法ヲ改正致シマセ  
ヌト、織物デアリ、而モ絹織物デアリマス  
場合ニ於テハ稅ヲ免除スル途ハ只今ノ所ナ  
イト思ヒマス

○高橋(熊)委員 施行規則三十一條ニアリ  
マシテハ紙類トカ色々ナモノヲ免除シテア  
リマスガ、アノ事項ニ何カ當嵌メルコトハ  
出來ナイノデゴザイマスカ

○松隈政府委員 織物消費稅法施行規則第  
三十一條ニ掲ゲテアリマスル芭蕉トカ黃麻  
トカ或ハ紙、襪襪等ノ材料ト云フモノハ、大  
體是等ノモノヲ以テ製造致シマスル織物ハ  
價格モ低ク、所謂低級品ニ屬シマスカラ茲  
ニ掲ゲテアルノデアリマシテ、茲ニ若シ「絹」  
ト云フ字ヲ入レマスルト「ベルト」ニ付キマシ  
テモ、織物ニ付キマシテモ一樣ニ免稅サレ  
ルト云フ虞ガアリマスルノデ、其ノ點ハ少  
シク困難——不可能ニ近イト思ヒマス

○高橋(熊)委員 時間ヲ取リマスカラ私ハ  
此ノ程度ニ止メマスガ、是ハ生産擴充ノ方  
面カラシテ非常ニ大キナ問題デアリマスカ  
ラ、大臣ニ於キマシテモ十分御考慮ヲ願ヒ  
タイト思ヒマス

○勝委員長 次ニハ青木作雄君ニ發言ヲ御  
願ヒスルノデアリマスガ、豫算總會ガ一時  
カラ始マリマスノデ大臣ハ大變御忙シイノ  
デアリマスカラ、ドウカ簡單ニ御願ヒ致シ  
マス

○青木(作)委員 今頃斯ウ云フコトヲ御伺

ヒスル時デハナイカモ存ジマセヌガ、昨日  
來他ノ委員ノ方カラ御聽キニナツタ時ニ、  
此ノ稅ガ將來ニ於テ輕減サレルヤウナコト  
ガアルノデハナイカト云フコトニ對シテ、  
松隈主稅局長ハ、餘裕ガアレバ減稅スルコ  
トガアラウト仰シヤイマシタガ、漫然ト餘  
裕ガアレバト云フ意味デアリマスカ、餘裕  
ガ生ズルデアラウト云フコトヲ確實ニ御考

ヘニナツテノ御話デアリマセウカ、大藏大  
臣ハドウ云フ風ニ御考ヘニナリマスカ、今  
日此ノ戰爭ニ突入シタ國民ノ覺悟ト致シマ  
シテハ、最後ノモノヲ捧ゲルマデ戰ヒ抜カ  
ウト云フ決心ヲ持ツテ居ルノデアリマスカ  
ラ、此ノ稅ガ差當ツテ重クナルト云フコト  
ハ覺悟シテ居ツテモ、輕クナルト云フコト  
ハ夢想ダモシテ居リマセヌ、併シナガラ大  
東亞戰ノ作戦ノ遂行ト共ニ可ナリ輪廓モハ  
ツキリシテ來マシタシ、皇國ノ興廢ヲ賭シ  
テ居ルト云フ者ヘカラ、幾ラカ茲ニ建設ニ對  
スル希望モ湧イテ來テ居リマスルシ、自然其  
ノ結果トシテ稅ノ方面ガ大東亞建設トドウ  
云フ關係ニナラウカ、是ハ差當ツテ出來ナ  
イニシテモ、十年カ十五年、或ハ長イ將來ニ  
於テドウ云フ關係ニナルデアラウカト云フ  
コトガ考ヘラレルデアラウ、ソコデ一縷ノ  
希望ヲ持ツセルヤウナ何カ御考ヘガアルダ  
ラウカ、只今ノヤウナ結論ニ到達シマスル  
ヤ否ヤ、一應御伺ヒシテ見タイト思ヒマ  
ス

○賀屋國務大臣 私ハ見込トシテハ輕減スル  
ヤウナコトハアリマセヌ、此ノ戰爭ガ長期  
ニ互リマス、ソレカラ又大東亞經濟圏ガ逐  
次確立ニ向ヒマシテ生産力ガ増加シテ參リ  
マス、何様日本ヲ中心トシテ參リマスル大  
東亞共榮圏ノ地圖ヲ御覽ニナツテモ分リマ

スヤウニ、之ヲ維持シ發展セシメテ行ク爲  
ニハ世界第一等ノ強大ナ陸海空軍ヲ要シマ  
ス、之ヲ建設シ、之ヲ維持シテ參リマスル  
コトハ、財政負擔トシテモ實ニ大キイモノ  
デアアル、私ハ是ハ今デアリマスカラ絶對ト  
ハ言ヘマセヌガ、現實ノ問題トシテ、負擔  
ヲ輕減スルト云フコトハ當分考ヘラレマセ  
ヌ

○勝委員長 此ノ際申上ゲテ置キマスガ、  
本日ノ午後ハ委員室ノ都合上、竝ニ本會議  
ヲ關係上、本委員會ハ開會致シマセヌ、明  
日ハ午前十時カラ開會致シマス、ソレカラ  
大藏大臣ハ今日御出席ヲ得マシタガ、明日  
ハ御出席ヲ願フ譯ニ行キマセヌ、又重ネテ  
御相談ノ上ニ御出席ヲ願ヒマスカラ、大藏  
大臣ニ對スル質問ハ其ノ際ニ御願ヒヲ致シ  
マシテ、明日午前十時カラハ政府委員ニ對  
スル質問ヲ續行シテ戴キマス、本日ハ是ニ  
テ散會致シマス

午後零時二十分散會

昭和十七年一月二十八日印刷

昭和十七年一月二十九日發行

衆議院事務局

印刷者 內閣印刷局